

FFG調査月報

MONTHLY REPORT

10

2022.OCT
VOL.149

Top Interview

株式会社 ブラッツ 代表取締役会長 福山 明利 氏

株式会社 丸山ステンレス工業 代表取締役 丸山 良博 氏

服部産業 株式会社 代表取締役社長 服部 京一郎 氏

 福岡銀行

 熊本銀行

 十八親和銀行





マルイの出店サービス

OMEMIE

おめみえ

マルイ 出店

検索



関東、関西、九州に展開するマルイへの出店はOMEMIEで

OMEMIEは、マルイ店舗への出店検討から問い合わせ、契約までの手続きがオンラインで行える出店サービスです

POINT

01



かんたんスペース検索

エリアや利用用途からかんたん検索。1週間から月額料金で出店できます。気になるスペースは、無料でオンライン予約が可能！

POINT

02



出店安心サポート

スタッフの確保や、什器の手配で苦労していませんか？出店に必要なリソースをサポートする様々なサービスをご用意。

POINT

03



気軽に店出相談

はじめての出店や、スペース選びに悩んだ時は、お気軽に出店相談フォームよりご相談ください。店舗運営経験豊富なマルイスタッフが、貴社に最適なスペースをご提案。

九州 博多マルイへのイベント出店者を募集中です。



博多マルイは、博多駅前に立地する
KITTE博多ビルの1F～7Fに
キーテナントとして営業しております。

〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街9番1号
☎092-415-0101



出店をお考えの方は
今すぐサイトにアクセス！

2022年度 新入社員フォローアップ研修会

本研修会では、新入社員の方々を対象に、慣れはじめた日々の仕事の中で入社後を振り返り、現状を見直し、仕事に取り組む上での基本姿勢やビジネスマナーなどを再確認していただきます。研修は、他業種の方々とコミュニケーションを図りながらグループワークを中心に進めます。

即戦力として役立つビジネススキルの修得と仕事に対する意欲の向上を図り、ブラッシュアップを目指します。

研修内容

- ・入社後、数ヶ月を振り返って・会社(組織)で働くことの再確認
- ・仕事のプロになるための姿勢・意識・ビジネスマナー実習
- ・明日からの行動についてのプログラム決意表明やキャリアデザイン

対象者 2022年度の新規・中途採用者

受講料 FFG経営者クラブ会員／1企業5人まで **無料**
6人目よりお1人様3,000円(税込)
会員以外／お1人様6,000円(税込) ※請求書は後日送付いたします。

主催 福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行・
FFG経営者クラブ・FFGビジネスコンサルティング

講師

一般社団法人日本経営協会講師
野村Office主宰

野村 ひとみ氏

【プロフィール】

国立教育研究所の所轄機関の研究員、また大手電気メーカー、航空会社、商社、テレビ局、サービス業等の実務を経て、人財の育成研修及び教育コンサルティング業務を中心とした野村Officeを設立。人財教育のプロとして、年間約200件の研修・講演会の講師として日本各地で指導する。現在は、中国における人財育成にも参画し、グローバルに活躍中。

また、全国ビジネス実務学会正会員、日本マネジメント学会正会員、日本交流分析協会会員及び研究員、大学非常勤講師、自治戦略・公共サービス改革委員、公益財団法人太宰府市国際交流協会副理事長として活躍中。

区分	会場およびオンラインツール		日程	時間帯	定員
会場参加	福岡会場	福岡銀行本店 4階セミナールーム 福岡市中央区天神2-13-1	9/1(水)・10/1(水)・10/1(金)	10:00～17:00 (6時間)	各日程 30名
	北九州会場	福岡小倉ビル 5階セミナールーム 北九州市小倉北区船場町2-1	11/1(水)		
	熊本会場	熊本ホテルキャッスル 熊本市中央区城東町4-2	9/1(金)・10/1(火)		
	長崎会場	ホテルニュー長崎 長崎市大黒町14-5	9/1(水)・11/1(火)		
	佐世保会場	FFG佐世保本店ビル 4階セミナールーム 佐世保市三浦町1-26	11/1(火)		
オンライン参加	Zoom	後日、Zoomの招待URLとテキストデータをメールにてお送りいたします。	9/1(火)・10/1(水)・10/1(金)・20/1(火)・20/1(水)・20/1(金)	13:00～17:00 (4時間)	各日程 30名
			10/1(金)・10/1(火)・20/1(木)・20/1(金)・25/1(火)・28/1(金)・31/1(月)		
			11/9(水)・11/1(金)・15/1(火)・17/1(木)・18/1(金)・22/1(火)・25/1(金)・29/1(火)		

※お申し込み時点では満席になっている場合もございますがその際はご了承ください。

※会場参加の場合は6時間コース、オンライン参加の場合は4時間コースとなります。セミナーは、概ね同じ内容となりますが演習(体験学習)の内容が若干異なります。

申込締切：各開催日の5営業日前の17:00まで

欠席される場合は開催日の3営業日前までにご連絡ください。

お申し込み方法

下記のホームページにアクセスの上、「商談会・セミナー情報」よりお申込みください。



FFGビジネスコンサルティングホームページ

<https://www.ffgbc.com/>

お申込み後の流れ

- ① 研修会開催の2営業日前までに、お申込責任者様に「ご案内メール(会場参加の場合は受講票、オンライン参加の場合は受講に必要なテキスト、Zoom招待URL等)」をお送りします。
- ② お申込責任者様は、ご案内メールが届きましたら、受講者様にご展開ください。
- ③ ご案内メールをよくお読みいただき、ご参加いただきますようお願いいたします。

業務委託：本研修に関する運営事務は、一般社団法人日本経営協会に委託しております。

お問合せ先

〈申込・変更・取消などに関するお問合せ〉
一般社団法人 日本経営協会

TEL

092-431-3365

受付時間 9:15～17:00(但し、土日祝日は除く)

主催

株式会社FFGビジネスコンサルティング内
FFG経営者クラブ事務局
〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1

TEL

092-723-2241

受付時間 9:00～17:00(但し、銀行休業日は除く)

担当：岩谷、田中

地獄と極楽

懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene



▲血の池地獄



▲別府名物の焼肉、冷麺



●血の池地獄

住所：
大分県別府市
野田778



別府地獄組合

昭和の好景気には年間1,200万人が訪れていた別府温泉も、新旧交代の模索が続いている。新しい時代を支えるのは、やはり別府八湯と言われる温泉と豊後の国の豊かな食材だ。多様な温泉は「地獄めぐり」の観光コースでも体験できる。地表に噴き出した温泉の様子は地獄ごとに異なり、その迫力に驚かされる。まさに大地のエネルギーが溢れるパワースポットだ。

関アジや関サバに臼杵フグといった豊後水道の新鮮な海の幸や、焼肉・冷麺・餃子にとり天などのソウルフードというべき垂涎の名店が、昭和の雰囲気を残すこの街に、宝石を散らしたかのように輝いている。

別府は決して素通りしてはいけない。連泊して、見て歩き、食べて唸れる極楽である。

(文・阿井川 圭)

CONTENTS



2 懐かしい情景を探して 地獄と極楽

Top Interview

- 4 福岡銀行
株式会社 プラッツ 代表取締役会長
福山 明利 氏
- 10 熊本銀行
株式会社 丸山ステンレス工業 代表取締役
丸山 良博 氏
- 16 十八親和銀行
服部産業 株式会社 代表取締役社長
服部 京一郎 氏

- 22 さすてなぶる九州
株式会社 富士機 代表取締役会長 藤田 以和彦 氏

- 30 地域とつながるFFG連携プロジェクト
地域共創型オンラインストア「エンニチ」にて
南島原特集を開催!!

- 32 環境にやさしく、安心な未来のために **NEW!**
東芝ネクストクラフトベルケ 株式会社
代表取締役社長 新貝 英己 氏

- 36 コラボ de SDGs **NEW!**
食品ロスを減らすために私たちができること
クラウン製パン 株式会社・門司港レトロビール 株式会社

- 40 START UP Company 株式会社 キビテク

- 42 FFG BMS
株式会社 やおいち / 株式会社 お菓子の彦一本舗
株式会社 トラサポ

- 46 上海駐在員報告 拡大を続ける中国のEC市場

- 52 地域と共生するFFG
九州の夜を彩る夜景都市
北九州市・長崎市・熊本市の夜間景観への取り組み

- 58 地銀9行連携レポート 広島銀行
『アート×演劇』で彩るひろしまナイトミュージアム

- 62 九州の星 カラテドリームフェスティバル全国大会
2年連続優勝(2020年・2021年) 緑 晴 君

- 64 釣り道 平家の里の大山女魚編

- 65 長崎だより 長崎・長与町から福祉の革命を

バックナンバー
のお知らせ

「FFG調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。



今月の表紙 ふれあい塾(福岡県田川郡福智町)

表紙の写真は、福岡市内から車で1時間半ほどの位置にある福岡県福智町にある「ふれあい塾」の外観です。ペイペイドームほどの広大な敷地の芝生の中に、丘から突き出た三角トラス形状の建築物が計4棟あります。自然をテーマに、空・海・山・大地のプリズム(三角柱)と名付けられた4棟の建物は、多目的棟・研修棟・男子宿泊棟・女子宿泊棟の役割があります。1994年に開塾し、現在も多目的研修施設として町内外から年間約3千人の利用客が訪れます。

設計者は熊本市出身の世界的建築家・葉祥栄氏。九州では「小国ドーム(熊本)」、「福岡市営地下鉄七隈線天神南駅」など、多くの建築物を設計されています。



 福岡銀行

「高品質」「高機能」「低価格」を実現。
介護用ベッドを通じて社会に貢献する。

株式会社プラッツ

代表取締役会長

ふくやま あきとし

福山明利氏

取引店／福岡銀行 天神町支店

■会社概要

創業:1992年／設立:1992年／所在地:福岡県
大野城市／資本金:5億8,205万円／従業員:
109名(2022年6月現在)／事業内容:医療・介護
用ベッド、マットレス等ベッド周辺機器の製造販売
／事業所:本社、北海道支店、東北支店、関東支
店、東海支店、関西支店、中四国支店、九州支店

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





本社前(左から福山会長、五島預取)

医療備品販売の会社から 介護用ベッドのメーカーに

株式会社プラッツは、福岡県大野城市に本社を置き、病院・施設・在宅の電動ベッド、マットレスといったベッド周辺機器の製造・販売を行っており、東証グロース市場、福証Q-Boardに上場しています。創業は1992年、私が34歳の時、福岡県春日市の自宅の1室から始めました。「有限会社九州和研創業」を設立し、救急用酸素蘇生機の販売代理店として事業を始めたのです。人工呼吸器と酸素吸入器、吸引器が一つになったコンパクトな商品で、全国の医師会の協同組合でも取り扱っていたことから、九州での代理店にしてほしいとお願いをしたのが始まりです。

そこからはお客さまのご要望に合わせていくうちに商品構成が増加。医療機関に必要なあらゆる商材を探しては、カタログにまとめ、今で言うBtoB通販の元となるようなことを始めたのです。そのカタログを持って病院を巡回するようにになり、病院や介護用のベッドもその中の一つとして取り扱っていました。そのうち大手もBtoBカタログ通販を始めるようになり、

このままではいつか負けてしまうかもしれないと考えていた時、ある医師から「これからは在宅介護の時代だ」という話を聞き、病院・介護用ベッドだけに商品を絞り込むことを決断。ところが、病院・介護用ベッドの大手メーカーのものが30数万円もすることに驚き、前職で台湾や中国の金属加工の工場などを見て回った経験があったことから、「海外生産をすればもっと安く提供できるのではないか」と思いついたのです。

そこで登場したのが、1997年に発売を開始した介護用電動ベッド「PKBシリーズ」でした。価格は9万9,800円という、画期的な商品でした。1995年には社名を「株式会社プラッツ」に変更。「プラッツ」はドイツ語で、英語でいう「プラザ」ですが、人が集まる場所といった意味があり、当時の自社カタログの名前を社名にしたのです。

いくつもの大きな試練を乗り越え 東証、福証Q-Boardに上場

大きな転機になったのが2000年前後です。メーカーとして、市場のニーズに合う製品を生み出すための設計や開発に、膨大な資金が



5



3



1



6



4



2



福山会長

必要と感じていた時でした。あるベンチャーキャピタルから「出資をしたい」と申し出があり、一気に資本金が2億円に跳ね上がったのです。それまでの資本金が300万円でしたから、会社に乗っ取られてしまうのではという不安もよぎりましたが、まずは、理想の製品を生み出すための資金が必要と考え、初めて自社で介護保険レンタル対応ベッドを設計・開発したのです。当時は要支援、要介護認定を受けている方は、誰もが1割負担でレンタルできたこともあり、その後は順調に売り上げを伸ばしていきました。

2022年7月で、当社は30周年を迎えましたが、過去数回、前年度の売り上げを下回った経験があります。その一つが、2006年の介護保険制度の改正でした。在宅介護用ベッド

レンタルが要介護2以上に限定され、とたんに返品の手となり、危機的状況も経験しました。そうした状況から社員一丸で乗り越え、その後も次々と新製品を生み出すとともに、販路を全国に広げ、中国・上海にも進出。現地工場と提携しているベトナムのホーチミンには、2010年に駐在事務所も開設しています。2015年には東京証券取引所マザーズ（当時）、福岡証券取引所Q-Boardに上場を果たし、在宅介護用ベッド分野では業界2位のシェアとなりました。

独立を目指し、総合商社を退職 それまでの経験、人脈が糧に

私自身は福岡の医師の家系に生まれました。親族の多くが医師を志す中、私は医師の道を選択せずに福岡大学法学部に進学。卒業後は関西に本社を置く総合商社に入社し、家電製品などの消費財の輸入を手掛けていました。ただ、会社員生活が続ける中で、「自分はサラリーマンには向いてない」と感じる場面も多く、いずれは独立したいと考えるようになったのです。ちょうど34歳になった時、「35歳になる前に



11 9



7



8



10



1.対談風景／2.本社ショールームを見学／3.4.高機能な在宅介護用ベッド「ミオレットⅢ」／5.6.利便性の高い在宅介護用ベッド「ヨカロ」／7.進化した背上げ、業界最高クラスの床面高さを実現した在宅介護用ベッド「ヨカロ」／8.自立支援介護用電動ベッド「プリモレット」／9.垂直昇降機構や音声読み上げ機能・液晶付き手元スイッチを搭載した医療施設用電動ベッド「アスピーノ」／10.すべての世代とすべての空間に調和するダークブラウンの色調と質感の「ケアレットネオアルファⅡ」／11.企業メッセージ



最前列左から松尾取締役、城社長、福山会長、五島頭取、大石支店長（福岡銀行）

挑戦したい」と、会社を辞めて独立しました。すでに結婚して、子どもたちもいたのですが、家族は私の性格を良く知ってか、快く賛同してくれたことを今でも感謝しています。

当社は一貫して「高品質」「高機能」「低価格」の3点にこだわって、製品をお届けします。病院・介護用電動ベッドは、看病や介護を必要とされている高齢者の方がお使いになるのですから、絶対にけがをすることがあってはなりません。それだけのスペックと機能を持った製品だけをお届けしています。

今から10数年前だったでしょうか、他社製の安価な在宅介護用電動ベッドで事故が多発しました。そうした経緯もありJIS規格が生まれました。JIS規格を受けるには製品はもちろん、工場の認定も必要で、日本でその認定を持っているのは5社のみで、その1社が当社です。

また、当社はそれまで白いスチール製のみだった在宅介護用ベッドに、チャコールグレーなどのカラーを採用し、ヘッドボードも木製にするなど、当時としてまったく概念のなかったデザインを生み出しました。この挑戦が、今の生き残りにもつながっていると思っています。



城社長

介護用ベッドに必要な要素は二つだけ。介護されている方が、リクライニング機能を使いつつ、手摺りを握って移動できるなど、自立支援に結びつくこと。もう一つは介護する方が快適であること。ベッドの高さを変えることができるれば、介護する方の腰が楽になります。社会的に弱い立場にある方が、人生で最後に使うベッドになるかもしれません。使い勝手が良く心地よいものをお届けすることが、私たちの使命だと思っています。

世界的に進む高齢化を視野に 東アジア地域にも進出

現在、介護保険制度利用で在宅介護用ベッドのレンタル（1割負担）ができるのは要介護

2～5の方々ですが、その中で介護保険を利用してレンタルする方が3年前に100万人を突破しました。高齢化に伴い、利用数は年々4～5%ずつ伸びています。レンタルのベッドの耐久年数が10～15年ですので、各社が買い増しのタイミングを狙っている中で、当社は現在、全国の35%ほどをシェアできています。

今、高齢者の医療は、入院から在宅へのシフトが進んでいます。在宅での診療はもちろん、見守りのためのセンサーなどが飛躍的に伸びており、IoTやAIを活用した遠隔医療がテーマになってくると考えています。医療側から見れば、ベッドはデータを採取する宝庫であり、在宅介護用ベッドの付加価値は、今後さらに上がると思っています。また、福祉用具全体を視野に、福祉業界のさまざまな企業と協力していきながら、市場の期待に応えていきたいと思っています。

コロナ禍により計画は遅れてはいるものの、高齢化が進む東アジア地域への進出も見据えています。円安の影響や資材高騰などさまざまな問題はあるものの、次の上昇局面に向かって、高い志をもって挑んでいきたいと思えます。

■ インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 五島 久

1992年の個人創業から今年で30年。たしかな品質と低価格の両方を実現し、さらにはデザイン性などの付加価値のある製品を次々と打ち出され、在宅介護用ベッドの分野で業界2位までに成長されています。

「人生100年時代」に向けて、在宅での医療・介護も増えていく中、介護用ベッドの需要はますます高まることが予想されます。今後は国内のみならず、高齢化が進む東アジア地域への進出も計画されており、これまで以上に発展されることを心よりお祈りいたします。





 熊本銀行

ステンレス精密板金加工の技術で

ニーズに応える

「高次元のモノづくり」を提供。

株式会社丸山^{まるやま}ステンレス工業
丸山^{まるやま}良博^{よしひろ}氏

代表取締役

取引店／熊本銀行 山鹿支店

■会社概要

創業:1973年／設立:1981年／所在地:熊本県山鹿市／資本金:1,000万円／従業員:34名(2022年8月現在)／事業内容:精密板金加工、レーザー加工、建築金物、厨房機器、ウォータージェット加工による特殊材切断加工、アウトドアブランド「STEN FLAME」の自社商品開発・製造・販売

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





本社前(左から丸山社長、野村頭取)

高い完成度が求められる ステンレス精密板金加工

当社は、先代である父・丸山義行^{よしゆき}が1973年に創業した「丸山ステンレス工業」を前身としています。主に建築金物、オーダーの流し台をはじめとする厨房機器などのステンレス板金加工を行っていました。

1981年に法人化、2001年に「株式会社丸山ステンレス工業」へ組織変更し、現在は、半導体製造装置を中心とした精密ステンレス加工・溶接を主力とする「シートメタル・クオリティーカンパニー」を掲げ、ステンレス精密板金加工に特化したモノづくりを行っています。

ステンレス板金加工は、鉄のように塗装やメッキができないだけに、図面や寸法では表せない細かなキズ、バリ（突起物）を見逃さず、なめらかな仕上げが要求され、加工技術者によって見た目の輝きや美しさが大きく違ってくるのが特徴です。当社は、その仕上げの美しさにおいても、納品先のお客様から高い評価をいただいています。

ステンレス溶接に関しては、強度と美観・

歪み・精度という難しいお客様の要望に応えるべく技術の向上に努めてきました。そのため全社員30数名中、20名がステンレス鋼溶接技術検定資格者（JISZ3821 TNP）を取得。その技術力をベースに、高精度板金加工品の難解な課題解決に対応しています。

33歳で社長に 将来を見据えた設備投資に着手

私は1991年、20歳の時に入社。会社はちょうどその頃、好景気に後押しされ、レーザー加工機といった大型機械の導入、第1工場、第2工場と拡張し、業績を伸ばしていました。当社が順調に事業を拡大していく中、60歳になる前だった父が突然、会社の経営を私に任せると言つて社長の交代を宣言。2005年、私は33歳ながら社長となりました。

なぜ父が私にこんなに早く会社を引き継いだのかは、未だに本心を聞くことができませんが、これから先を見据えた上で、次の世代に任せたいと思ったのかもしれない。それまでに工場の技術者や営業なども経験しては



5



3 1



6



4 2





丸山社長

いましたが、ベテランの社員も多い中で、勉強させてもらいながら、ここまでやってきました。

就任後の転機の一つが、2010年のウォータージェット加工機の導入です。このウォータージェット加工機は、ステンレスのみならずアルミやガラス、またこれから需要が伸びていくと考えられるカーボンやチタンといった特殊かつ新しい素材の切断や加工が可能な設備です。新たなビジネスチャンスにつながると考え、実際に今、そのような依頼も増えてきています。

ただ、社長に就任後、ずっと感じてきたのは「私たちの仕事が一一般の方から見ると非常に分かりにくい」ということでした。多くの人に知ってもらえることができ、社員がもつと誇りを持つてできるものがないか、そしてそれが新しい

ビジネスにならないかと考えていました。

自社商品開発プロジェクトによる アウトドアブランドの焚き火台が誕生

確かな技術はそのままに、これからは見据え、新たな展開をしていきたいと思い、2018年に立ち上げたのが「自社商品開発プロジェクト」でした。立ち上げから2年後のギフト・ショーへの出展を目標に、自分たちのこれまで培ってきた技術を活かした自社商品を作ろうと思い立ったのです。

そして2年間、試作や耐久テストを繰り返して、クラウドファンディングを経て生まれたのがアウトドアブランド「STEN FLAME」の「Bonfire Grill」(焚き火台)でした。元々は、熊本地震があつたことで災害用に考えていたのですが、ちょうどアウトドアブームが到来し、大きくテレビや雑誌などでアウトドア商品として紹介され、注目を集めることになったのです。

この商品は、私たちの持つステンレス精密板金加工技術をフルに活かし、県花のリンドウや



1.対談風景／2.3.4.工場見学の様子／5.2022年8月に導入した2台目となるウォータージェット加工機／6.第17回優秀板金製品技能フェア金賞受賞作品「ステンレス製灯籠」／7.STEN FLAME Bonfire Grill／8.STEN FLAME LIGHT／9.STEN FLAME GLAMP／10.2022年9月に発売を開始したSTEN FLAME DRIP／11.企業メッセージ



2022年7月に竣工した資材倉庫前にて。最前列左4人目から丸山社長、野村頭取、古荘支店長（熊本銀行）

手^て毬^{まり}、竹籠といった熊本の伝統的工芸品にちなんだモチーフを加工。調理器具として利用するのはもちろん、ステンレスが生み出す炎の灯しびが癒しの効果をもたらしてくれることで、特にアウトドア初心者の方でも扱いやすいと喜ばれました。

販路については、当社ホームページのオンラインショップだけでなく、東北、関東、関西などのアウトドアショップ10店舗でもお取り扱いいただいています。また、購入された方がSNSなどで使用している写真をアップしてくれたことで、それらを見た方からの問い合わせが増えました。

「STEN FLAME」シリーズは、大型焚き火台「STEN FLAME GLAMP^{グランパ}」、組み立て式ミニ焚き火台「STEN FLAME LIGHT^{ライト}」など、新しい商品を生み出しています。

さらに2022年9月には、組み立て式コーヒードリッパー「STEN FLAME DRIP^{ドリップ}」が発売となりました。これは、東京都墨田区と長野県軽井沢町で珈琲専門店を展開されている「UnCafe^{アンカフェ} Sucre^{シュクレ}株式会社」と共同開発した商品で、別売りでドリッパー

スタンドも用意しています。円形に近い六角形の形状でお湯を投入しやすく、円錐形のパーフィルターが程良くフィットし、コーヒーの味や香りが引き立つ設計となっています。また、軽量かつ組み立て式で持ち運びにも便利です。まったくの異業種である珈琲専門店の方からの呼びかけで実現した新しい商品に、私たちも期待を寄せています。

新ブランドで雇用にも変化

メンター制度導入で人材を育成

この焚き火台「STEN FLAME」の誕生は、雇用にも大きな変化をもたらしてくれました。この商品を知って、「こういうものを作りたい」という20代、30代の方が面接に来てくれるようになり、昨年は中途入社で4人を採用、今年も2人採用の予定になっています。ステンレス精密板金加工だけではイメージできなかった当社の仕事が多くの人に認められたと感じました。また、山鹿市のふるさと納税の返礼品にも採用いただいており、地域の方にも誇りに持つもらえる商品になったと感じています。

社員教育については、資格取得を含め、技術の習得がきちんと身に付くよう「メンター制度」を導入しています。経験豊富な先輩社員が、仕事だけでなく身の回り全てのことをサポートする環境で、丁寧に人材を育成していきたいと思っています。

また地元の鹿本商工高校からのインターンシップ実習も毎年受け入れています。期間は3日間と短いながらも、モノづくりの楽しさ、大切さを少しでも体感してもらおうという取り組みです。生徒たちには、自分で製作したネーム入りミニ焚き火台をお土産に持って帰ってもらっています。少しでも地元の企業のことを理解いただき、また、将来を担ってくれる人材採用にもつながればと思っています。

私たちの経営理念は「我々の働きで社会の発展に貢献すると同時に全社員の幸福を追求する。」です。この言葉を胸に、さらにこれからの新しい時代に向けて、最先端の加工機械と職人たちの手加工による匠の技術を融合した「高次元のモノづくり」を提供し、さらなる顧客満足と社会貢献に向けた挑戦をこれからも続けてまいります。

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 野村 俊巳

長年培われてきたその確かな技術で熊本県内の半導体製造産業の一翼を担い、「シートメタル・クオリティーカンパニー」として、ステンレス精密板金加工に特化したモノづくりを信念に、発展し続けて来られました。

2020年からは焚き火台「STEN FLAME」がアウトドアブームとも相まって大きな話題を呼び、若い人たちの製造業への関心が広がる機会にもなっています。その将来を見据える柔軟な発想力を持って、さらなる躍進を期待しています。





トップに聞く!

十八親和銀行

梱包・配電盤・鋳造を二つの柱に

高い技術と品質で

多種多様なニーズに応える。

はっとり さんぎょう
服部産業株式会社

代表取締役社長

はっとり きょういちろう
服部京一郎氏

取引店／十八親和銀行 北支店

■会社概要

創業:1953年／設立:1969年／所在地:長崎県長崎市／資本金:2,000万円／従業員:162名(2021年3月末現在)／事業内容:梱包業、配電盤製造業、鋳物製品製造業、精密機械加工業、電気工事業／事業所:本社・工場、第二工場(配電盤部)、時津工場(梱包部)、城山ビル(電設部)、島原工場(鋳造部)、熊本事業所

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





本社工場前(左から服部社長、山川頭取)

付加価値を求め 新事業に次々と着手

当社は、木材の卸販売業を営む「服部商店」を前身に、1953年に長崎市で創業しました。創業から今年で69年、木箱をはじめ強化ダンボール、スチール等を使用した、輸向けまたは国内輸送向けの梱包事業、高低圧盤や電気機器装置製造の配電盤事業、製品の製造から機械加工までを行う製造事業の三つの事業を大きな柱として、さらに各種電気工事を行う電気工事業業などにも進出し、今日に至っています。

梱包、配電盤、製造と、全く異なる事業を展開していますが、その事業のすべてが繋がっています。創業者である祖父・服部京三^{きやうぞう}は、足場板用などの木材の卸販売業を行っていました。その時、最も木材が使われていた「梱包」に着目し、梱包事業を開始しました。1969年に法人化し、「服部産業株式会社」を設立。

1971年に時津町内に時津工場が完成すると同時に、荷箱製作・梱包業務を本格的に開始しました。

京三は常に新しい発想で、さらなる付加価値を追い求めていました。梱包事業を進めていく中で、梱包される商品に配電盤が非常に多いことにヒントを得て、それまで全く縁がなかった配電盤事業に進出しました。また、電気工事業業も、この配電盤製造から発展して生まれています。

ただし、もともとは木材販売や梱包事業です。配電盤や電気設備に関するような知識は全くないところからのスタートです。当時の主要な取引先であった三菱電機株式会社様に協力いただきながら、技術者を育て、柱となる事業へと発展させてまいりました。現在、当社従業員は、ほとんどが未経験で入社しますが、常に高い品質を保つために、確かな技術者を育てることが何よりも重要と考え、各部署で徹底した教育プログラムの下、技術の継承は





服部社長

もちろん、専門的な資格取得などもしっかりとサポートしています。

設計から板金、検査・試験まで

一貫した製造体制が強み

1982年に、現在の長崎市小瀬戸町の神ノ島工業団地内に本社工場を移転すると、その翌年の1983年には島原市にあった株式会社亀田鉄工所を傘下に置くことになりました。亀田鉄工所は、1992年に株式会社ハトリキャステックと社名変更し、2003年に

服部産業鑄造部として合併統合しました。現在は、船用ディーゼルエンジン用過給器部品、誘導電動機用部品、産業用ロボット部品等を製造しています。配電盤事業は、1989年に板金製造部を新設し、金型プレス機械の導入による精密板金の生産を開始しました。これにより設計から板金、塗装、配線、検査・試験に至るまで一貫してできる体制が確立しました。板金は外注とする企業が多い中で、配電盤の仕様変更にも柔軟に対応した一貫した生産ができることが、当社の大きな強みになりました。主な商品は、発電所や工業用の高圧受配電盤、高圧で受電するための機器一式を金属製の外箱に収めた受配電用キュービクル、特別高圧盤をはじめ、最近ではデータセンタ向けの製品も増えています。これらの製品は一般の方の目に触れることは少ないかもしれませんが、私たちの技術と品質は、確実にこの国の産業やその発展を支えていると自負しています。



11 9



7



10



8

1.談話の様子／2.数多い有資格者が在籍されている／3.4.本社工場内の梱包事業を見学／5.板金を目的の形状に打ち抜くタレットパンチプレスなど、各種板金加工設備を導入／6.7.配電盤事業を見学／8.熊本事業所(工場)／9.10.鑄造部のある島原工場／11.企業メッセージ



最前列左2人目から酒井取締役経営企画部長、服部隆弘取締役経理総務部長、上田取締役製造統括部長、服部京一郎社長、山川頭取、戸野本支店長(十八親和銀行)

熊本の半導体事業への挑戦

現在、当社の柱の一つである梱包事業は、また新しいステージに向かっていきます。もともと熊本県には精密機械関連の企業が多く集積しており、これまで本社のある長崎から出張してその梱包作業に対応してまいりましたが、よりお客様のニーズに応えるため、2020年1月に熊本県合志市に熊本事業所を新設しました。この事業所は、私の父であり、現会長である服部一弘^{かずひろ}が陣頭指揮を取っており、当社にとって大きな挑戦となっています。昨年、世界最大手の半導体メーカーである台湾積体回路製造(TSMC)の熊本進出が発表され、当社の熊本進出の大きな追い風となっています。

精密機械梱包にはダンボールの特殊加工技術が欠かせません。当社が長年培ってきたノウハウと品質で、さらなる国内産業の発展に貢献できたらと思っています。

感謝の気持ちを忘れず お客様のお役に立つために

私はここ長崎市で生まれ、地元の大学を卒業後すぐに、当社に入社しました。「後継者になる」という特別な意識を持つてはいなかったのですが、大学卒業と同時に自然とこの道を選んでいました。梱包事業の現場を3年間経験した後、営業へ。2013年には常務、2017年には副社長に就任、2020年5月に社長に就任しました。

まだ父も現役の年齢であったことから、「まだ早いのでは」という思いもありました。しかし父には、創業者である祖父が急逝して突然社長に就任した経緯があり、父は引き継ぎができず非常に苦勞をしたそうで、そのため私を早く社長に置き、引き継ぎをしっかりとりたいと考えたようです。その父から伝えられたのは「感謝の気持ちを忘れない」ということ。当社は、来年2023年に創業70周年を迎えます。

厳しい時代を乗り越え、ここまで続けてこられたのは、社員を含め「周りの方たちに助けてもらってきたおかげ」であり、その感謝の気持ちを決して忘れてはならないという父の強い思いでした。

今は熊本事業所が軌道に乗ることが第一ですが、さらにはSDGsへの取り組みも進めたいと思っています。私たちが梱包事業で取り扱うダンボールは90%以上リサイクルが可能です。これらをどう社会に活かしていけるのか、非常に高い興味を持っています。

当社では長年、長崎市の夏の風物詩である精霊流しの精霊船の製造も手掛けてきました。近年は精霊船の数も減っていますが、地域とのつながりは非常に大切だと感じています。また最近ではダンボール製の災害用ベッドを長崎県に寄付させていただきました。私たちの理念は「お客様のお役に立てる会社づくり」です。誠心誠意、常に感謝の気持ちを忘れずに、これからも発展し続けていきたいと思っています。

■ インタビューを終えて

十八親和銀行 取締役頭取 山川 信彦

木材を使用した梱包事業にはじまり、配電盤事業、鋳造事業、そして電気工事業と、これまで常に付加価値を求め、時代を見据え、事業を展開してこられました。長年にわたり培われてきた高い技術と確かな品質で、この国の産業を支えてこられました。

一昨年前には熊本事業所を新設され、いま全国的に注目されている半導体製品等の梱包という分野において、大きな役割を果たされることでしょう。今後さらなる成長を果たされ、ますます発展されることを期待しています。



Sustainable Kyushu

さすてなぶる九州

株式会社 富士機

代表取締役会長

藤田 以和彦氏

Iwahiko Fujita

取引店／福岡銀行 博多駅東支店



全国の生コン工場をSDGs対応型へ。

「環境負荷低減」と「CO₂削減」を同時実現。

各種工場の生産設備（プラント）製造と、独自開発した中性化固化改良工法で産業汚泥の土壌改良を手掛ける株式会社富士機（本社・福岡市博多区、藤田岳彦社長）は、今年4月、資源循環の可能性追求を目指す次世代型生コン工場を太宰府市内に建設し、稼働を開始しました。同工場では生コン材料の再生・再利用、使用電力の再生可能エネルギーの利用、CO₂発生抑制、を中心とした全国でも例を

見ない画期的な工場運営が行われています。

新工場の建設は、産業廃棄物の低減および資源枯渇問題に対する先進的な取り組みであり、この活動はSDGsで掲げられる17の目標のうち、「9.産業と技術革新の基盤を作ろう」と「12.つくる責任つかう責任」を推進するものです。

新工場の発案者で、設計と建設の指揮をとった同社の藤田以和彦会長にお話を伺いました。

生コンプラントを取り巻く 業界に一石を投じる

異常気象、地球温暖化が社会全体の問題として意識されるようになった今、当社を含む生コン業界においても、環境保全につながる活動は重要な課題となっています。その一方で、業界における長年の慣習などの理由から、問題に対処するための意識改革が進まず、課題が改善されない面が多々あるのが実態でした。

そこで、当社は業界に一石を投じようと、新型プラントの創設に踏み出す決意をし、今から4年ほど前に研究を開始しました。研究のテーマは大きく2点。「材料の再生利用」と「CO₂発生抑制」です。

生コン業界以外ではあまり知られていない言葉に、「残コン」「戻りコン」がありますが、「残コン」とは「残コンクリート」のことで、工場からタンクローリーで出荷され、建設現場で排出された後、タンク内の壁に引っ付いて残ってしまうコンクリートを指します。それと、「戻りコン」つまり「戻りコンクリート」とは、タンクローリーから排出されないまま、生コン工場に

戻される余ったコンクリートのことです。これら「残コン」「戻りコン」はたとえ未使用であつても廃棄物扱いとなることから、生コン業界において長い間解決すべき課題となっていました。

いくつもの特長を備えた 新機軸のプラントを創設

そこで、今回の新型プラントの目的である「材料の再使用、再生利用」ですが、残コンや戻りコンを含むタンクローリーのタンク内の洗浄水を回収して、骨材（コンクリートを作る際に材料として使われる砂利や砂）と水に分離させ、それぞれ再利用できる仕組みを構築しました。

プラントの設計に関しては、残コン・戻りコンの洗浄や中身を仕分けする装置、タンクローリーの洗浄水をろ過して貯める水槽など必要な設備を、4層構造にした建屋のなかに縦に配置。こうすることで500m程度という、従来の1割程度にあたるコンパクトな敷地へのプラント建設が可能になりました。地域環境への負荷も低減でき、同様の施設を都市部

の土地に建設するという選択肢も考えられるようになります。

また、重力を利用して水の洗浄や骨材の回収が進むメカニズムになっているので、従来のような運搬用重機を工場内で稼働させずに済みます。これによって、重機の燃料も不要で排ガスの発生もありません。

プラント内は、集塵機と換気扇によってクリーンに保たれており、騒音や粉塵の発生に配慮されています。さらには、プラント内を循環する水の落差を利用して水力発電を行い、内部照明などの電力をまかなっています。

資源の再利用が可能となるこのプラントによつて、ひと月あたり生コン5,000mの出荷に際して、18トン分のCO₂削減が可能になりました。

同業者の意識改革から 社会の変革へ

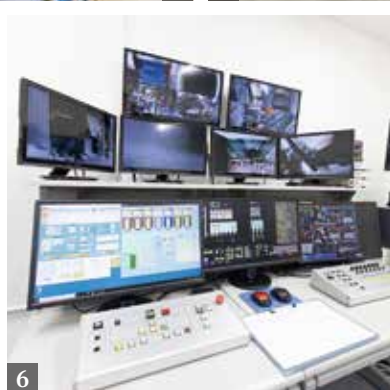
18トンのCO₂削減といつても具体的に想像できないかもしれませんが、この量はジェット旅客機が福岡と大阪の間を往復した際のCO₂

排出量に相当します。1工場でこの数値ですから、全国にある3,200を超える生コン工場がすべてこのプラントに切り替えれば、大きな環境負荷低減とCO₂の排出量削減につながるでしょう。

ですから当社としてはこの新工場は、新たな仕組みの研究開発の場であると同時に、プラント操業におけるさまざまなデータを集めることを目的としています。例えば、従業員の縦の移動には、転落事故防止用の専用昇降機を設置していますが、これによって、工場内における転落事故が従来にくらべてどれほど減らせるかの実証実験にもなっています。

新工場は、研究開発とデータ収集のために本来よりもさまざまな機能を追加していますが、生コン工場という機能のみに特化した新たな工場を建設するだけなら、予算を大幅に抑えることが可能です。また、すでに稼働中のプラントに対して、新たに必要な機能だけを追加建設することもできるようにしています。それもこれも、業界全体にこの仕組みを行き渡らせるため。当社単独の取り組みでは、社会全体の環境負荷低減という大きな目標には立ち

Sustainable Kyushu



1.太宰府市内に新設した次世代型生コンプラント／2.プラント最上階から残コン・戻りコンが分別されながら落下していく／3.残コン・戻りコンから分離した再利用可能な骨材／4.浄化された水も再利用されるが、この水が階下に落ちる際に発電機のモーターを回す／5.明るくクリーンな桂川工場の内部／6.パッチャープラント制御盤FX-Vでさらに業務を効率化／7.ヘドロに中性固化材を投入して混ぜると瞬時に固化する

向かえません。業界全体の意識が変わり、社会が変わる第一歩と、当社の新工場を位置付けています。

半世紀前から取り組んでいた

残コン処理技術

ここで少し、当社の歴史についてもお話します。株式会社富士機は、1947年、私の父・喜太郎^{きたろう}が工場向け機械器具の設計製造をここ福岡で始めたことが起源です。大学在学中に機械設計の仕事を手掛けていた私は、大学を中退して父の鉄工所に入りました。1969年に父から事業を継承し、その3年後に組織を法人化して株式会社富士機鉄工（1991年に現在の社名へ変更）を設立。生コン工場のプラント修理とメンテナンスを行っていた経緯から、約30年前から生コン業界と深く関わっていることになりました。

これまでに、アスファルトプラントや碎石プラントなど、多様な業種のプラント、搬送・貯蔵設備、粉砕設備などの開発・設計・製造に携わってきました。そうした意味で、当社の

特色は、新機軸の技術開発にあると思います。大手企業と互って生き残っていかなければならないので、そうせざるを得なかったともいえます。

実際のところ、今回の新工場における技術開発の軸でもある残コン処理システムは、今から半世紀近く前の1974年に当社で開発を行っています。ただ、当時はそうした技術の必要性がまだ認識されていなかったことから、どの企業からも見向きもされませんでした。その苦い経験から、技術開発はニーズに合ったタイミングが重要であることを学びました。

有明海の豊かな干潟を 取り戻してみせる

新工場に関わる技術と並んで、当社における技術開発の大きな転換点となったのが、建設現場で発生する汚泥を改良土に変える技術です。専門的には「中性固化改良工法」といいますが、固化剤を使った泥土の改質技術の開発によって、環境事業においても当社は実績を残すようになりました。



対談中の藤田会長

技術開発には十年ほどを費やし、固化剤開発のための研究会を社内にも立ち上げ、東京大学の教授などとの研究連携も行いました。苦心の末に開発が成功すると、汚泥を現場で固めて再利用する工法にもつながりました。これによって、首都高速道路の地下汚泥処理、

東日本大震災で津波によって陸地に積み上げられたヘドロの処理、東京メトロ13号線（副都心線）の建設工事と、社会貢献に位置付けられる活動を展開することにつながっています。

泥土の改質技術は、河川部や湖沼などの環境を改善するのにも役立ちます。私自身の今後の目標として公言しているのは、長年関わってきた、有明海の干潟改善です。有明海の海底は泥化していて生物が生きにくくなり、泥化した干潟が毎年拡大している状況です。泥の固化技術で土壌を改質すれば、生物の活動が促されて干潟が豊かになります。地球環境改善の一環となる取り組みに、残りの人生をかけて力を尽くす所存です。



桂川工場にて(右から藤田会長、福井支店長(福岡銀行))

株式会社 富士機

■本社所在地：〒812-0013

福岡市博多区博多駅東1丁目10番30号 富士機博多駅東ビル10階

■電話番号：092-432-8510

■事業所：本社（福岡市博多区博多駅東）、桂川工場（福岡県嘉穂郡桂川町）、箱崎工場（福岡市東区箱崎ふ頭）、南九州工場（宮崎県北諸県郡三股町）、東京ソイルテックセンター（東京都大田区京浜島）、大阪ソイルテックセンター（大阪市住之江区南港中）、相馬事業所（福島県相馬郡新地町）、東京ソイル第2工場（東京都江東区青海）、那珂川プラント（福岡県那珂川市）



Topics of the month

熊本銀行による地域企業に対するSDGsコンサル支援

昨年4月にふくおかフィナンシャルグループ(以下、FFG)は、SDGs支援子会社「株式会社サステナブルスケール」を設立し、昨年11月15日からSDGs評価サービス「サステナブルスケールインデックス(以下、SSI)」の提供を開始いたしました。今回は、SSIを活用した熊本銀行によるSDGsコンサルティング業務についてご紹介いたします。

1 重光産業様の概要



今回ご紹介する企業は、昭和43年創業の総合食品製造メーカー、重光産業株式会社様です。同社は、創業者の重光孝治氏が「健康を考え体によい食品を作る」の精神のもと、熊本県庁前のわずか7坪8席のラーメン店から事業をスタートされました。今では、「味千拉麺」等に

代表されるブランドで、海外732店舗、国内65店舗展開し、世界中で親しまれています(店舗数はフランチャイズを含む)。

同社は、食に対する日々の研究・開発に勤しみ、味・品質に徹底的にこだわることで、同社のスローガンである「食を通じておなかも心もいっぱいに(一杯!)」に基づき、食を通じた自社の成長と社会貢献に努めてこられました。

そこで、熊本銀行はFFGと連携して、これまでのSDGsに資する取組みを整理し、戦略・方向性と紐付することで、「同社のSDGs方針」を作り上げるサポートをSDGsコンサルティングとして取組みました。

2 SDGsコンサルティングの取組み

まず、SSIへの回答からス

タートし、SSIの評価レポートを基に熊本銀行と同社とで対話を重ねました。同社のSDGsの取組みの現状整理を実施することで、今までの取組みをSDGsマッピングとして整理することが出来ました。

次に、熊本銀行と同社の社長を含めた幹部社員とディスカッションを重ねることで、「我が社のSDGs方針」の骨子を作りました。

SDGsの取組みを「食」「人」「地域」の3つのキーワードに集約し、その中で「食」を最上位概念とした自社と地域の循環モデルを作りました。

同モデルを実現していくことが、「SDGsの精神に則り、自社の成長と地域の成長の実現、持続的で平和な社会の実現に貢献する」との考えを再定義いたしました。

更に同社の特色として、世界

■当社のSDGs取組み（一例）

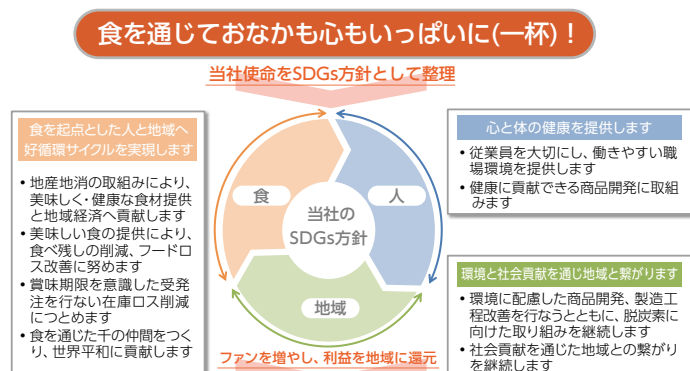


「学生向け」の工場見学・体験学習の実施

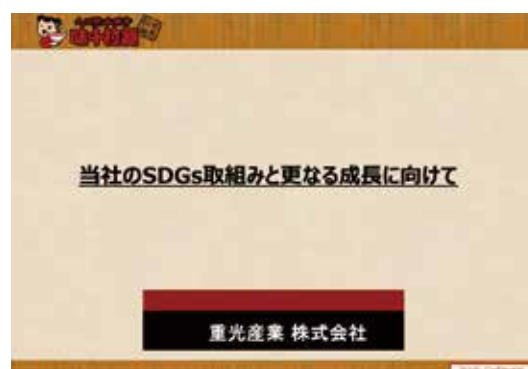


「味千拉麺出前隊」によるラーメンボランティアの展開

■当社のSDGs方針



当社の成長と地域への貢献を果たすことで、持続的で平和な社会の実現に貢献します



〔会社概要〕



法人名 重光産業株式会社
本社・工場 熊本県菊池郡菊陽町辛川448



社内ディスカッションの一場面 重光社長（左から3人目）と幹部の皆様、熊本銀行本店営業部・田口部長（左から4人目）、同ソリューション営業部・内田部長代理（右から3人目）

熊本銀行ならびにFFGでは、お客様のSDGs導入支援として、SSIを活用したコンサルティングを行っております。今後もFFGのグループ企業や外部のパートナー等と連携し、地域における更なるSDGsの広がり貢献できるよう、商品ラインアップやお客様向けコンサルティングサービス等を充実させてまいります。

3 最後に

15カ国に店舗を持つことから、「食」味を共通言語とした平和産業としての取組みや、味千拉麺のブランド名に則り「千の仲間を作る」ことでの世界平和への挑戦」と日本国内に留まらないグローバルな目標も掲げました。最後に本取組みを「我が社のSDGs方針」としてレポートにまとめました。

地域とつながる FFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、
観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。
今回は、自治体や民間事業者と連携した取組みについてご紹介します。



地域共創型オンラインストア「エンニチ」にて南島原特集を開催！！

長崎県の島原半島南東部に位置する南島原市は、有明海と橘湾から豊富な魚介類が獲れ、温暖な気候の下、多種多様な農畜産物が生産される地域です。

南島原市による、「おいしい南島原」をテーマに食・自然・歴史・観光などの魅力の発信を目的とした「南島原市総合的シティプロモーション推進事業（公募事業）」において、長崎文化放送株式会社とFFGのグループ企業のiBankマーケティングは連携し採択されました。iBankマーケティングでは、運営する地域共創型オンラインストア「エンニチ」内で、南島原市の特産品の特集を開催することとなり、南島原市内事業者を対象に10月から開催する南島原特集に向け、準備を進めてきました。

8月22日（月）に先立って開催された出店希望者向けの説明会には、十八親和銀行の南島原市内支店からご紹介いただいた事業者20社が参加され、「エンニチ」への出店にあたり、9月7日（水）に出品商品写真撮影会を実施しました。さらに、9月14日（水）には出店事業者向けの研修会を開催し、「エンニチ」のシステム管理画面の操作方法や出店商品のページ作成について実際にパソコンで作業を行い、ECサイトへの出店がはじめての事業者に対してわかりやすい研修会となりました。

今回、エンニチでは南島原の名産品の情報を発信し、コロナ禍で旅行がしづらい中でもお取り寄せが

できるような企画実施に向け取り組んでいます。

長崎文化放送では南島原市の情報をお届けする「みなちゅーステーション」（毎週日曜22時57分〜）で今回出店予定の事業者の紹介や長崎文化放送公式TikTokで広告配信を行っており、「エンニチ」の特集ページ及び商品ページへの誘導につながる取組みを実施しています。

今回の事業をきっかけとし、各事業者がSNSでの情報発信やECサイトでの販路拡大への取組みにより、南島原市の地域活性化に貢献していきます。

今後もFFGのプラットフォーム提供やプロモーション支援による本プロジェクトの推進はもとより、地域産品の販路拡大などの支援による地方創生の取組みを進めてまいります。

なお、十八親和銀行地域振興部では9月8日、9月13日に長崎大学から2名のインターンシップを受け入れ、「エンニチ」のページ制作や写真撮影などを一緒に対応していただきました。

南島原特集 開催までの流れ

8月22日（月）
出店希望者向け説明会

9月7日（水）
出品商品者写真撮影会

9月14日（水）
出店事業者向け研修会

9月30日（金）
エンニチ「南島原特集」
特設ページ公開



1



2



エンニチとは

地域の特産品に特化した産直通販サイトで、定期的の特集企画を開催しており大手通販サイトとは一味違った見せ方でオンライン販売拡大を行っています。



エンニチ南島原特集はこちら ※9月30日公開

- ① 老舗葬儀社が手掛ける切子行灯 あんどん
- ② そうめんのトップブランド島原手延そうめん
- ③ DIAGONAL RUN NAGASAKIでのインターンシップ受入の様子
左から長崎大学の松屋さん・西さん
- ④ 南島原市役所での出品商品写真撮影会の様子
左から十八親和銀行兼iBankマーケティング 有尾・山口・長尾



3



4



十八親和銀行地域振興部 兼
iBankマーケティング 山口
【お問い合わせ】TEL (095) 827-8609

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取り組み事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

 bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- 産業振興
- 教育文化芸術
- まちづくり
- エネルギー
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254

とうし
東芝ネクストクラフトベルケ株式会社

代表取締役社長

新貝 英己 氏

Hideki Shingai



2050年のカーボンニュートラル、脱炭素社会への実現に向け、いま再生可能エネルギーに注目が集まっています。その中でも、最も需要が高い太陽光発電への事業参入、さらに再エネと需要家のマッチングサービス「再エネアグリゲーション事業」が活発になってきています。

そのアグリゲーターの一つである東芝ネクストクラフトベルケ株式会社の新貝英己社長に、日本のカーボンニュートラルに向けた動き、再エネ導入の現状、そして注目の再エネアグリゲーション事業の目的や役割について、お話を伺いました。

環境にやさしく、安心な未来のために。

再生可能エネルギーの導入と活用を支援し、
サステナブルな未来を実現する。

2050年カーボンニュートラル 実現に向けて

2020年10月に行われた、当時の菅義偉首相の所信表明演説にあった「我が国は、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」という宣言を受け、各自治体、企業をはじめとする社会全体においてカーボンニュートラルに向けた取り組みが始まっています。

政府はこれらを実現するために、まずは2030年を一つのマイルストーンとして設定し、それに向けた2021年10月の「第6次エネルギー基本計画」では、再エネの比率を36、38%と決めました。さらに、2021年4月に

開催された40カ国・地域の首相による「気候変動サミット」では、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガスといった温室効果ガスについて、日本は従来の目標から20%アップして、2013年度比で46%削減することを表明しました。それに伴い、地球温暖化対策推進法（温対法）の改正、エネルギー供給強化法の施行に向けた取り組みが着々と進められています。

太陽光の導入量が2倍に 需要家の動きに注目

そうした中、早急な対策が必要とされているのが再エネの普及です。現在、新型コロナウイルスの感染拡大やロシア・ウクライナ危機に

よる影響などによって、世界的なエネルギー不足が起ころっており、再エネ普及への課題は待たなしの状況です。

国内で利用されている再エネには、太陽光、風力、地熱、水力、バイオマスがあります。経済産業省では、2030年度の「望ましい電源構成（エネルギーベストミックス）案」を公表しています。これを実現するには、太陽光の導入量を、2019年度時点の約60GW^{ギガワット}から2030年度までに約120GWと2倍に増やしていく必要があります。現在最も多い水力は、50GWからほぼ横ばいと見られており、これを大きく上回ることから、2030年度までに太陽光発電の導入が、より活発になることが予想されます。

世界的な動きを見ると、企業や自治体といった電気の需要家が再エネ普及のドライバーになっていく動きを見えています。例えば米国Apple^{アップル}では、2030年までにサプライチェーンと製品全体でカーボンニュートラルを達成することを目標に掲げました。

日本においても、三菱商事グループがAmazon^{アマゾン}に向け、再エネを活用した長期売電

契約を締結。これは、既存の再エネやFIT（固定価格買取制度）電源の証書購入などではなく、新たな再エネへの投資ということで注目されています。これらの動きは、国内外問わず、今後加速していくでしょう。

日本のエネルギー自給率は11.8%（2018年度）にとどまっており、さらに世界的なエネルギー不足、災害等による大型発電所の計画外停止、それに伴う電力供給不足などによって、企業や家庭でも電力に対する大きな意識の変化が起きています。その中で再エネの価値が再認識され始めており、再エネを活用したバランスのよい電源構成が求められているのです。

FITからFIPへ

電気の市場が大きく変化

太陽光発電というと、現在、再エネで発電した電気を、電力会社が一定価格で一定期間買い取るFITを利用されているという方もいらっしゃるでしょう。しかし、その制度が大きく変わります。それが、2020年6月に成立

した「強靱かつ持続可能な電気供給体制の確立を図るための電気事業法等の一部を改正する法律案」、いわゆる「エネルギー供給強靱化法」です。

この中で、再エネの主力電源化の実現にあたり、固定価格買取であるFIT（Feed-in Tariff）制度における導入拡大やコスト低減などを踏まえた次のステップとして、欧州ですでに導入されている市場連動型のFIP（Feed-in Premium）制度が創設されることになりました。ただし、制度の導入においては、これまでの固定価格買取に比べて、最適な市場取引が実現できるか、相対取引による収益性の向上が望めるのが課題になっています。

また、FITでは送配電事業者が再エネの発電量予測を代行していましたが、FIPでは正確な発電量予測に基づく計画値同時同量業務をどこが担当していくかも課題です。しかし、新たな設備投資を促す効果が期待される、いわゆる「追加性」のある再エネを相対で販売できるという非常に大きなメリットに期待が集まっています。その期待の高さから、

発電量予測の計画や調整の業務と取引業務を担当する「アグリゲーター」を担う「再エネアグリゲーション事業」が注目され、早くも各企業からの参入が始まっています。

その一つが、私たち東芝ネクストクラフトベルケです。設立は2020年11月。2012年からFIP制度が始まったドイツで、再エネ事業者の支援を行い急成長してきた世界的なVPP（バーチャル・パワー・プラント）アグリゲーターであるネクストクラフトベルケと東芝エネルギーシステムズ株式会社による合弁会社です。

ここでは、ネクストクラフトベルケの持つ運用ノウハウやデジタルテクノロジーと、東芝の持つ再エネや系統技術を組み合わせたデジタルサービスを展開しています。私たちは太陽光、風力、バイオマスなどの再エネ発電事業者、東芝をはじめとするアグリゲーターと連携して、計画値同時同量業務に必要なシステムを提供し、電力広域的運営推進機関への計画値の提出、J-EPXや需給調整市場のほか、小売・需要家への最適売買を実現します。

再エネ発電事業者と 需要家のニーズをつないでいく

米国 Apple のように、サプライチェーンを巻き込んだカーボンニュートラルへの高い意識をもった需要家は、今後増加することが予想されます。それらの非化石価値を求める需要家に安定、安価な再エネを供給できる再エネ発電事業者と需要家のマッチングサービスも、今後は活発になっていくでしょう。



具体的には、再エネ発電事業者の方には、東芝エネルギーシステムズがバランシング（計画値同時同量）の運用を代行することでインバランスリスクが回避できます。また、再エネ発電事業者が自ら運用をする場合には、東芝ネットワーククラウドベルケが、運用に必要なシステムをクラウドで提供することができます。また、非FIT再エネの事業性を検証したいといったご要望には、収益性シミュレーションのお手伝いや補助金スキームの紹介なども行います。

需要家の方には、例えば敷地の中に再エネを設置したいという場合、自家消費モデルのご提案、第三者所有による初期費無料型のご提案、余剰した電気を他の施設に融通するご提案などを行います。再エネの調達、非FIT非化石証書の調達支援など、あらゆるご要望にお応えしていきたいと思っています。

再エネを他の電源とバランスよく増やし、サステナブルな未来を実現するために、これらの取り組みに社会的な意義を見出し、意欲的に活用したいと願う企業や自治体の皆さまのための新しいサービスを、私たちは精力的に展開してまいります。

お問い合わせ窓口

東芝エネルギーシステムズ株式会社 代表問い合わせ窓口フォーム

入力フォームの「製品名」欄に“VPP”と入力して
お問い合わせください



東芝エネルギーシステムズ株式会社の鈴木光昭氏

食品ロスを減らすために 私たちができること

製パン会社が地ビールメーカーに呼びかけ、
今まで廃棄していた食パンの耳を活用

食パン製造の過程で大量に廃棄されてしまうパンの耳を有効活用したい——

そんな思いから、製パン会社と地ビール工房、

北九州の二つの企業がタッグを組み、原料にパンの耳を使用して
試行錯誤の末クラフトビール「ブレッドヴァイツェン」が誕生しました。

おいしくて、環境にやさしい、

フードロス削減の取り組みとして、いま注目を集めています。

パン作りの教科書から得た 課題解決の糸口

戦後まもなく創業し、北九州市内および近郊の学校に日々約8万食もの給食用食パンを供給し続けることで地域に貢献しているクラウン製パン株式会社。関東や海外にまで進出を果たしたミニクロワッサン専門店「ミニヨン」、アイスクリーム店「ユキモン」などのグループブランドでも知られる地元企業です。これまで廃棄していた給食用食パンの耳を何かに利用することで食品ロス問題を解決したいと、地元クラフトビールメーカーとタッグを組みました。

同社の松岡寛樹^{まうおかひろき}常務取締役は事の発端を次のように語ります。

「業務効率化の一環として生産ラインの改善に取り組む過程で、食パン製造で発生する廃棄物の多さに気付きました。食パンから切り落とされるパンの耳はすべて廃棄されて

いるため、多い時で1日に1,000本製造される食パンに対して廃棄物が約100kg発生します。食パン製造は小麦農家や砂糖生産者などの努力からも成り立っているのに、実にもったいない、何とかできないかと、ずっと考えていました」

そこで松岡常務は「揚げパンにする」「家畜の飼料にする」といったパンの耳の利用法を検討しましたが、手間や採算の観点からあきらめざるを得ませんでした。暗中模索の日々が続くなか、パンについて書かれた書物が一筋の光明を与えてくれたそうです。

「パン作りの教科書に、紀元前からパンはビールの原料になってきた、という記述があり、これならパンの耳をまとめて再利用できるかもしれないと。大学教授などの専門家に相談してみたところ、『難しいだろう』と言われました。しかし自分なりに調べてみると、パンからビールを製造して

いる事例は今も世界的に数例あるようでした。それで、共通の知り合いを介して繋がった門司港レトロビールさんに共同で商品開発できないか声を掛けたのです」

門司港レトロビール株式会社は、1997年設立の地ビールメーカー。親会社の代表がアメリカで初めて口にした地ビールの味に感動して興した会社で、ビール文化発祥のヨーロッパでも広く親しまれている正統派ヨーロッパアンスタイルを貫き、「ヴァイツェン」「ペールエール」「ピルスナー」などの種類の地ビールを製造。全国地ビール醸造者協議会が主催する「JBA全国地ビール品質審査会」において2019年、2021年最優秀賞を2回連続で受賞しています。（2020年は未開催）

クラウン製パンからの依頼に応じた醸造部部長の峯松幸之助^{みねまつこうのすけ}さんは新ビール開発の道のりを明かしてくれました。

「当社のビール製造では大麦と小麦の麦芽を使っています。パンと同じ小麦を原料にしているのだから、理屈ではできないはずはない。それに、食品業界で長らく課題となっていたフードロス削減に一役買えるのであれば、とお引き受けしました」



クラウン製パン松岡常務

何度も試作を重ねて たどりついた3センチ角

開発するのは同社の主力ビールである「ヴァイツェン」で、原料の50%以上が小麦麦芽。新商品開発では、原料である小麦麦芽の代替品として



小麦麦芽の1割を食パンの耳で代用した「ブレッドヴァイツェン」

パンの耳を約1割使用することに。ひとまず第一段の仕込みとして40kgのパンの耳が用いられました。パンの耳は、クラウン製パンであらかじめこまかくカットした状態で醸造所に持ち込まれます。ところが、この工程が新商品開発の重大なポイントとなりました。

「最初はパン粉状になったパンの耳だったのですが、これだとビールの原料となる麦汁がうまくできない。それで、カットしてもらおう大きさを変えながら試作を繰り返しました。試行錯誤の末に導き出したベストの大きさが、3センチ角です。お話をいただいてから新商品『ブレッドヴァイツェン』が完成するまでに約半年かかりました」

酒税法上の分類では「発泡酒」扱いとなっているものの、同社のヴァイツェンビールと変わらぬおいしさにこだわって造られ、パンを原料に含んでいる分、通常のヴァイツェンよりも小麦の風味が強く感じられる、パン



クラウン製パンの本社工場では自社直営店の他、8万食もの給食用食パンや、ミニヨンで提供されるクロワッサンを製造している



右から門司港レトロビールの宮本企画部長、峯松醸造部長

由来のまろやかな味に仕上げられています。ビール缶のデザインも、食パンとピアジョッキのイラストを矢印で結ぶ工夫で新商品の特色を表すものになっています。

門司港レトロビールの企画部長を務める宮本桃子取締役は、同商品

発売時における反響の大きさを次のように語ります。

「パンが原料という意外性から多くのマスメディアが取り上げてくださったおかげで、売れ行きは予想以上に好調です。この秋には第2期仕込み分の発売も予定しています。これを機に、業界的にパン原料のビール製造が盛んになればうれしいですね。また、当社ではビアレストラン『門司港地ビール工房』の運営も手がけていますが、ハムやソーセージなど、ビールの本場における伝統的食文化の豊かな魅力も地域に発信していきたいと考えています」

フードロス削減のためのさらなる取り組みへ

北九州の企業による協同プロジェクトで生まれた「ブレッドヴァイツェン」。目新しさも手伝って人気を集めています。門司港レトロビールに

とっては決して利幅の大きな商品ではないとのこと。また、クラウン製パン側もパンの耳は無償提供。両社とも、あくまでも「廃棄食材の有効活用」を第一義と考えています。

そして、プロジェクトの発起人である松岡常務は、さらに「次の一手」へと踏み出していました。

「フードロス削減のカギとなるのは、食品消費期限の壁。当業界ではパンを冷凍化して長期保存を可能にする動きが活発化してきており、当社でも納品先によっては冷凍状態にする工程を取り入れています。パンの冷凍食品化が今後加速するのを見込んで、さらに力を入れていきます」

国際的なSDGsの開発目標で12番目に謳われた「つくる責任つかう責任」。「持続可能な生産・消費形態の確保」を前提としたエシカルな消費、つまり「人・社会・地域・環境に配慮した消費行動」が、個々に求められる時代となりつつあります。

門司港レトロビール 株式会社

- 本社所在地：〒802-0031
北九州市小倉北区赤坂海岸9-11
- 電話番号：093-541-6885
- 事業所：本社、レストラン門司港地ビール工房（北九州市小倉北区米町）、醸造所（北九州市門司区東港町）



自家製ハム・ソーセージもご準備しています！▶

クラウン製パン 株式会社

- 本社所在地：〒803-0842
北九州市小倉北区泉台4-4-41
- 電話番号：093-651-5559
- 事業所：本社



〈クラウン〉京町店・大蔵店・桃園店

MIGNON
〈ミニヨン〉

博多駅店・JR東日本池袋南改札横店・エキュート大宮ノース店・梅田店・小倉店・大分駅店・鹿児島店・宮崎店・熊本駅店・黒崎駅店・姪浜店・香港店



〈ユキモン〉



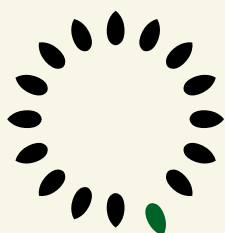
〈70歳パン工場〉

vol.20

START UP Company

今月の注目スタートアップ

ここで紹介するスタートアップ企業は、ふくおかフィナンシャルグループの投資会社 FFGベンチャービジネスパートナーズが運営するベンチャーファンドが投資しています。



Q i b i T e c h

#遠隔サポート付きロボットで難しい自動化を実現

ロボット遠隔制御サービス「HATS」の仕組み

自律走行ロボット



HATSキャリー

自律走行ロボットが
運用を通して動作を学習

クラウド



ロボットやオペレータの
情報を一元管理

オペレータ

在宅OK



- ✓ ロボット監視・分析
- ✓ 異常検知・復旧操作
- ✓ 条件最適化
- ✓ 現場の方との連絡・呼出し

オペレータの作業は
動作要点のみを遠隔操作

100件を超えるロボット開発経験を 活かした遠隔制御サービス「HATS」 を提供

株式会社キビテクは、智能ロボット、IoTシステムに関わる受託開発、研究、技術動向や特許等の調査報告、技術コンサルティングを行っています。

近年の人材不足や働く環境などの課題を解決するため、ロボット用遠隔制御サービス搭載の搬送ロボット「HATSキャリー」を開発し、製造業、物流事業者様へ販売を開始しました。また、HATSキャリーはロボットメーカー様向けにアドオン(※)のシステムとしてもご提供しています。

東大元講師等により創業した当社は、これまで100件以上の智能ロボットの開発経験があります。その経験を活かした、多種多様なロボット対応の



効率的な遠隔制御の技術が当社の提供するサービスの価値の中心です。

(※)ソフトウェアへ新たな機能を追加するためのプログラム

難しい自動化を安価に実現

近年、配送ロボットや配膳ロボット、ドローン等の新たなロボットは増えていますが、工場でもロボットによる労働の代替率は10%未満(2020年IFR報告書)です。

まだロボットで代替できる仕事は多くはありません。その原因は、ロボットの制御ソフトウェアが、文脈をうまく扱えず、臨機応変に対応することができないということだと考えています。

決まった動きの自動化はできるものの、例外への対応を予め全てプログラムすることができません。これが解決さえすれば自動化可能な作業は飛躍的に増えます。

この問題を、人がロボットをアシストすることによって解決することのできるサービスを私たちは提供しています。

このサービスが、多種類多数台のロボットを一人のオペレータで対応する遠隔制御サービスである「HATS (Highly Autonomous Teleoperation Service)」です。

当社はこのシステムと、オペレーションセンサー機能を提供します。ロボットメーカー様にHATSを搭載していただく方法と、HATSを搭載したロボットを直接ユーザ企業様へ販売する方法の2通りでご提供しています。

決められた経路に沿って、棚に乗った荷物を搬

送するロボットである「HATSキャリー」という製品は、既に倉庫のピッキングの効率化に活用していたいただいています。

1台からご利用可能で、レンタルプランもご用意していますのでイニシャルコスト(初期費用)の負担なしに安価に試していただけます。

作業員1名分の人件費よりも少ないコストでスタートでき、それ以上のコスト削減効果が期待できます。

社会問題解決を目指して

当社はHATS事業を通して、ロボットのオペレータという仕事を創出します。発展途上国の仕事に安定していない方々や、在宅を余儀なくされている方々へ、就労機会を届けます。そして境遇に寄らない公平な社会の可能性の増大に貢献することが私たちの目指していることです。



会社概要

株式会社キビテク



代表取締役 林 まりか
所在地 東京都品川区西五反田
8-4-14 大橋ビル3F
電話番号 03-5213-4751 (代表)
メールアドレス sales@qibitech.com
ホームページ https://qibitech.com/

FFGが提供するビジネスマッチング

ビジネス マッチング システム

FFG BMS

新たな取引を開拓したいとき、BMSに情報登録するとFFGネットワークによるきめ細やかなサポートで、簡単かつ効率的に自社の製品や技術を発信できます。

このコーナーでは実際に登録されているマッチング可能な企業様をご紹介します。



FFG BMS 登録情報のご紹介

提供企業・商品・サービスについてのお問い合わせは、近隣のお取引のある銀行窓口を通じてお願いします。

株式会社やおいち

提携農家から仕入れた野菜のカットと配送を委託できる事業者様を募集しています。

マッチングのポイント

株式会社やおいちは、販路拡大に向けて野菜のカット業務が可能な事業者様と提携し、お客様への安定したカット野菜の供給を目指しています。

委託業務内容は、卸売りする野菜をカットしていただき、取引先である大手小売事業者へ配送する業務になります。野菜は提携農家と年間契約しているため、安定した商品供給ができます。

企業情報

1991年創業。品質管理にこだわった業務用カット野菜やパック野菜の製造・販売を行っています。鮮度と栄養価を保った野菜をこだわって選び、入荷から製造・出荷までの全ての工程で危害予測をしながら、お客様に安全な野菜を届けています。

国内外の仕入れルートがあるため、安定した野菜の供給で日本の食卓を支えています。



【所在地】 山口県宇部市あすとぴあ1-1-2
【業種】 食料品製造業
【紹介支店】 福岡銀行 宇部支店



ホテルや旅館のおみやげとして熊本県八代銘菓「とんち彦一もなか」を販売しませんか？

お勧めのポイント

1953年に発売された熊本県八代銘菓として有名な「とんち彦一もなか」は、もなかの皮が香ばしくパリッと焼かれ、厳選した北海道産小豆の粒餡と大手亡豆を使用したきんとん餡の2種類の味を楽しむことができます。

第20回全国菓子大博覧会で高松宮名誉総裁賞を受賞し、熊本県のおみやげとして人気の商品です。

企業情報

1896年創業。厳選された素材と熟練の職人によって作られた和菓子が地域で愛され続けている老舗菓子店です。

地元特産品を使用した晩白柚ゼリーや、はちべえトマト・肥後ぐりなどを素材とする和洋菓子の開発も行っており、八代を代表する銘菓を数多く販売しています。



【所在地】 熊本県八代市高下西町2068-3
【業種】 菓子小売業
【紹介支店】 熊本銀行 松江通支店



輸送計画の見える化と特車ホルダーで運送業務を効率化しませんか？

お勧めのポイント

トラサポシステムは、タブレットを使った輸送サポートシステムです。国土交通省の新情報提供システムの認可を受けており、輸送計画の見える化や、タイムリーな車両位置情報で運送ルートの無駄を省き、運送を効率化します。

また、特車ホルダーアプリでは特殊車両通行許可証を電子化でき、管理・提示が簡単になります。

企業情報

トレーラーやトラックの誘導業務を行う株式会社シンプロジェクトのグループ会社として2018年創業。車両運送を補助するトラサポシステムを販売しています。運送時における、輸送過程の写真提供や車両同士の位置確認、関係部署との共有など、様々な機能を搭載しており、その実用性から大手運送会社とも多数契約されています。



特殊車両通行許可証をタブレットで持ち運びできます。



【所在地】 長崎県佐世保市卸本町22-3
【業種】 情報通信業
【紹介支店】 十八親和銀行 卸本町支店



Topics of the month

SDGs私募債の 寄付金贈呈式を開催しました

FFGならびに福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行は、SDGsの取り組みの一環としてSDGs私募債発行時の収益金の一部の寄付を行い、贈呈式を開催しました。(第三回募集期間:2021年4月~2022年3月)



(左)福岡銀行 橋爪常務／(右)(福)福岡県共同募金会 塩川常務理事



(左)(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 井田理事長／(右)FFG 五島社長



(左)熊本銀行 榎本常務／(右)(福)熊本県共同募金会 荒木会長



(左)十八親和銀行 八起専務／(右)(福)長崎県共同募金会 木村常務理事

寄付先団体
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
特定非営利活動法人 国境なき医師団日本
独立行政法人 日本学生支援機構
公益財団法人 日本環境協会
社会福祉法人 福岡県共同募金会
社会福祉法人 熊本県共同募金会
社会福祉法人 長崎県共同募金会
国立大学法人 九州大学 (新型コロナウイルスワクチン研究開発の取組み)

私募債とは、一定の財務水準を満たした企業が、直接金融による資金調達を目的に発行する社債のことをいい、その中でもSDGs私募債とは、FFG各社で私募債を発行されたお客様からいただく収益の一部をSDGsに資する団体等へ寄付する商品のことです。第三回目となる今回も私募債発行時の収益金の一部をSDGsに資する団体に寄付いたしました。

今後もFFGは、地域の皆様とともに、持続可能な社会の実現に向けた活動を続けてまいります。

FPG SDGs私募債発行企業様(2021年4月~2022年3月募集分)

企業名の掲載にご了承いただいた企業様のみ掲載しております。(50音順、敬称略)

※複数行にて発行いただいた企業様です。

福岡銀行

- 芦塚不動産株式会社(長崎県諫早市)
- 株式会社有明測量開発社(熊本県熊本市) ※
- 有限会社アルファインターナショナル(長崎県長崎市)
- 株式会社池田製作所(福岡県遠賀郡)
- 有限会社入木田鐵工(鹿児島県曾於市)
- 株式会社S・Kコーポレーション(福岡県北九州市)
- 株式会社えんホールディングス(福岡県福岡市)
- 株式会社オー・エイチ・アイ(福岡県福岡市)
- 株式会社オーファス(熊本県熊本市)
- 株式会社大村紙工(福岡県嘉穂郡)
- 株式会社輝石(長崎県西彼杵郡)
- 株式会社九州ハセック(福岡県直方市)
- 九州メディカルサービス株式会社(福岡県久留米市)
- 熊本不二コンクリート工業株式会社(熊本県菊池市) ※
- 株式会社クリーン・マット(長崎県長崎市)
- 株式会社クリエイトグループ(福岡県福岡市)
- 玄海興業株式会社(福岡県福岡市)
- 株式会社コウダプロ(福岡県福岡市)
- 株式会社コタベ(山口県下関市)
- シナノ設備株式会社(福岡県福岡市)
- 株式会社柴田産業(福岡県福岡市)
- ジョウツ一株式会社(熊本県熊本市) ※
- 株式会社新光(福岡県大野城市)
- 株式会社寿陽建設(福岡県北九州市)
- 株式会社西都電機商会(福岡県福岡市)
- 大一通信工業株式会社(福岡県飯塚市)
- ダイセーロジスティクス株式会社(東京都文京区)
- 大日商事株式会社(山口県下関市)
- 株式会社高本損害鑑定事務所(福岡県福岡市)
- 株式会社田園興産(福岡県北九州市)
- 株式会社タマシロ(福岡県北九州市)
- 株式会社内外美装(福岡県北九州市)
- 中川物産株式会社(愛知県名古屋市中)
- 株式会社長崎建創(長崎県諫早市)
- 株式会社西九州(長崎県佐世保市)
- 西日本コントラクト株式会社(福岡県糟屋郡)
- 日建建設株式会社(福岡県福岡市)
- 日本建設技術株式会社(佐賀県唐津市)
- 株式会社日本ハイヒート(兵庫県神戸市)
- 株式会社花丘建設(長崎県長崎市)
- 久屋産業株式会社(福岡県北九州市)
- Fun Standard株式会社(福岡県大野城市)
- 富士岐工産株式会社(福岡県北九州市)
- 株式会社富士土木エンジニアリング(鹿児島県鹿児島市)
- 株式会社不二宮製作所(熊本県荒尾市)
- 株式会社フチガミ(福岡県久留米市)
- 株式会社FROG(福岡県福岡市)
- 株式会社星山商店(熊本県熊本市)
- 前村工業株式会社(福岡県北九州市)
- 株式会社溝田設計事務所(福岡県久留米市)
- 株式会社ミドリ印刷(福岡県福岡市)
- 株式会社三幸製作所(静岡県浜松市)
- 株式会社妙見石原荘(鹿児島県霧島市)
- 株式会社三養基(福岡県北九州市)
- 株式会社ミヨシアセットマネジメント(福岡県福岡市)
- 明光電機株式会社(福岡県北九州市)
- 株式会社森商事(福岡県大牟田市)

熊本銀行

- アデル・カーズ株式会社(熊本県熊本市)
- アビリティ株式会社(熊本県熊本市)
- 株式会社有明測量開発社(熊本県熊本市) ※
- 株式会社アルファウェーブ(熊本県熊本市)
- 株式会社伊藤運送(鹿児島県鹿児島市)
- 株式会社ウッドファーム(熊本県熊本市)
- 株式会社奥羽興産(熊本県熊本市)
- 株式会社花島鍛冶(福岡県柳川市)
- 株式会社川崎ハウジング(熊本県熊本市)
- 株式会社感動(鹿児島県鹿児島市)
- 株式会社クキタ(熊本県水保市)
- 熊本不二コンクリート工業株式会社(熊本県菊池市) ※
- 株式会社坂元運送(鹿児島県鹿児島市)
- ジョウツ一株式会社(熊本県熊本市) ※
- 新鋼商事有限会社(熊本県八代市)
- 株式会社成樹(熊本県熊本市)
- 株式会社ゼンケイ(鹿児島県鹿児島市)
- 大福コンサルタント株式会社(鹿児島県鹿児島市)
- 株式会社宝島総合運輸(熊本県玉名市)
- 株式会社近見工業(熊本県熊本市)
- 株式会社テクサーブ(熊本県熊本市)
- 天翔物産株式会社(熊本県熊本市)
- 株式会社ナカハラ(熊本県熊本市)
- 日建建設株式会社(熊本県熊本市)
- 日東システムズ株式会社(熊本県玉名郡)
- ビル環境熊本株式会社(熊本県山鹿市)
- 株式会社風雅(熊本県熊本市)
- 株式会社保健支援センター(熊本県熊本市)
- 株式会社丸徳(熊本県八代市)
- 株式会社みらいコンシェルジュ(熊本県熊本市)
- 明治建設株式会社(熊本県熊本市)
- 株式会社森工業(熊本県阿蘇市)
- 吉野電子工業株式会社(熊本県玉名郡)
- リニューアルブル・ジャパン株式会社(東京都港区)

十八親和銀行

- オフィスメーション株式会社(長崎県長崎市)
- 有限会社シーエイプロダクション(長崎県大村市)
- 西部道路株式会社(長崎県佐世保市)
- 有限会社東彼クレーン(長崎県東彼杵郡)
- 株式会社トータス(長崎県諫早市)
- 株式会社トモダ(長崎県佐世保市)
- 長崎福島株式会社(長崎県佐世保市)
- 西九州倉庫株式会社(長崎県佐世保市)
- 株式会社西日本工業(長崎県佐世保市)
- 西日本鋼業株式会社(長崎県佐世保市)
- 株式会社バイオジェノミクス(長崎県大村市)
- 株式会社HAC(長崎県長崎市)
- 株式会社ホテル南風楼(長崎県島原市)
- 株式会社堀内組(長崎県佐世保市)
- 株式会社松葉屋(長崎県佐世保市)
- 古川建設株式会社(長崎県諫早市)



Shanghai Representative Office

上海駐在員報告



拡大を続ける 中国のEC市場

はじめに

中国は、スマートフォンによるショッピングやネット広告が最も普及している国の一つです。既に中国で販売している商材の更なる販路拡大や、これから中国市場の新規開拓を検討されている方が中国でのECビジネスについて理解を深めていただくために、中国におけるEC市場の現状や中国国内の主なECサイトの活用等についてご紹介いたします。

EC市場の市場規模

中国のEC市場は、2010年頃からのインターネットやスマートフォンなどの普及に加えて、新型コロナウイルスによる消費行動の変化もあり、急拡大しています。

B to Cにおける中国のEC市場は、直近データによると13・1兆元(約262兆円)と世界最

大で、第2位の米国の約3倍、日本の約12倍の規模があります。

また、小売額全体に占めるEC販売のシェア(EC化率)は24・5%あり、日本の8・8%と

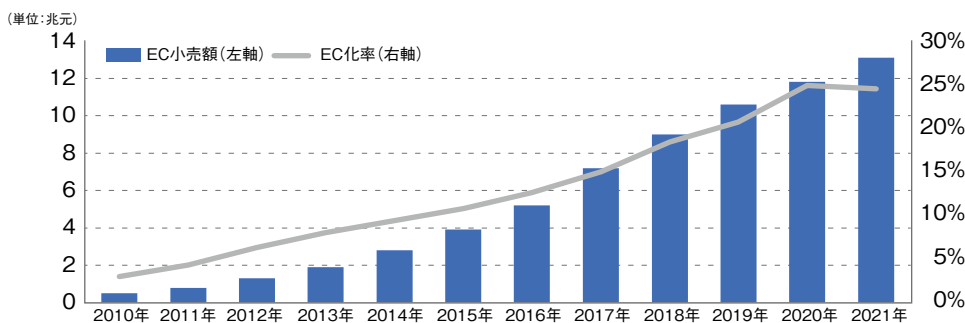
比較しても極めて高いことが伺えます。[図1]「1元≒20円換算、以後同様」

中国の所得水準は依然として毎年10%近く伸びており、購買力も相応に上昇していることから、今後も中国のEC市場は拡大していくことが見込まれます。

中国でEC市場が普及している要因として、ウィーチャットペイ(LINEの様なチャットアプリの決済機能)やAlipay(アリババの決済用アプリ)といったコミュニケーションアプリに付随した決済サービスが、店舗の大小を問わず中国全土どこでも使えるほど浸透している点が挙げられます。

また、配達員の賃金水準が低いことに加えて、バイクに大量の荷物を積みあげ運搬するスタイルや配送先への置き配が定着しており、運送コストが非常に安いことも事業者や利用者が多い要因です。[図2]

図1



出所: 中国国家统计局

※小売額全体に占めるECシェアは、実物商品インターネット小売額にて算出※アマゾンジャパンや楽天市場の販売額は、それぞれ4兆円程度



中国における主要なECサイト

代表的なECサイトは、淘宝（タオバオ）や天猫（テンマオ）です。両サイトともに、アリババGが運営しており、人口の6割以上に相当する9億人のユーザー数を持っています。

淘宝は、中国最大のCtoC型ECプラットフォームで、個人出店が可能のため、出店数が9,680千社（人）、年間販売額は6.8兆元（約136兆円）に上ります。

一方、天猫は、中国でトップシェアのBtoC型ECプラットフォームです。出店については法

■ 図2: 大量の荷物を積みあげ運搬するバイク



■ 図3: 主要なECサイト

ECサイト	特徴	販売額	ユーザー数	出店社数	形態	備考
淘宝 (タオバオ) 	- 中国最大のCtoC型ECプラットフォーム - 個人でも出店が可能のため、圧倒的な商品数を誇り、利用者の地域、年齢層の幅も広い - 開店する際に、保証金しかかからず、開店と運営コストが低い	6.8兆元 (約136兆円)	9.0億人	9,680千社	CtoC	アリババG
天猫 (テンマオ) 	- 中国でトップシェアのBtoC型ECプラットフォーム - 出店審査が厳しく、個人の出店はできず法人のみ - 高品質と正規品保証で消費者の信頼を獲得 - 保証金の他、ソフトウェアサービス費用、販売金額に応じた手数料が発生し、運営コストは淘宝より高い	1.7兆元 (約34兆円) ※天猫国際の販売額も含む		320千社	BtoC	
京東 (ジンドン) 	- 独自の物流ネットワークによる、配送スピードの速さが売り - PCやデジタル家電の販売に強みを持つ	3.2兆元 (約64兆円) ※京東国際の販売額も含む	5.7億人 ※京東国際のユーザーも含む	270千社	BtoC	—
拼多多 (ピンドウオドウオ) 	- 共同購入形式で消費者は商品を安く買うことができる - 個人SNSで情報が拡散しやすい 三、四級の地方都市の中低所得層ユーザーの獲得がメイン - 出店基準が、比較的緩い	2.4兆元 (約48兆円)	8.7億人	8,600千社	BtoC	—

出所: 各ECサイトHP 1元=20円

最後に

人限定で審査が厳しく、信頼度の低い事業者が比較的排除されているという安心感から、消費者の支持を獲得しているといわれています。出店数が320千社、年間販売額は1.7兆元（約34兆円）となっています。[図3]

中国の消費市場は所得増加もあり依然として拡大を続けています。現在では、沿岸部のみならず、内陸部の地方都市等においても消費が拡大しています。また、新型コロナウイルスの影響により海外渡航の制限が長期化していることも重なり、EC市場における海外製品を求める消費者も多数存在しています。

このような背景から、日本企業が中国でビジネス展開する場合、商材にもよりますが、EC販売を検討する価値があるのでは

ないでしょうか。中国の消費者向けにEC販売する場合、原則として中国国内で現地法人が必要となるため、気軽に取り組むにはややハードルが高いといえます。現地法人を持たずにEC販売を手掛けるのであれば、現地バイヤー（日系の現地事業者を含む）と貿易取引するか、もしくは現地バイヤーとのコネクションを持った日本の貿易商社等と取引を行うこととなります。

本稿で紹介した中国国内でのEC販売サイト活用の他に、規制緩和等により普及している越境ECを利用する方法もあります。日本の市場縮小が進む中であって、いかに巨大な中国市場で商機を捉えていくか、私どもも一緒に考えていきますのでお取引店へご相談ください。

2022年9月14日現在
(上海駐在員事務所 西村康彦)

柳川藩主立花邸 御花
大広間 御前能
殿様屋敷で堪能する「能」公演

2022年
9月27日(火) 開催済

10月19日(水)

11月8日(火)



御花

YANAGAWA
TACHIBANA-TEI
OHANA
SINCE 1758

柳川藩主立花邸 御花
〒832-0069 福岡県柳川市新外町1
<https://ohana.co.jp>

ご予約・お問い合わせ
Tel. 0944-73-2189

柳川藩主立花邸 御花の大広間 御前能
公演特設サイトをご覧ください。

北九州市の補助金事業において、 SDGs経営審査にSSIndexが 採択されました!

2022年8・9月号の
記事はこちら



2022年8月、北九州市は、SX・DX・GXの統合的な取り組みを新たに「SDG-X」(図1)と名付け、企業等が行う「SDG-X」の先進的なプロジェクトを支援するため、北九州市内の中小・中堅企業等を対象に最大5,000万円を補助する制度を創設しました。

その補助金制度の審査基準のひとつに(株)サステナブルスケール(FFGの子会社)が提供するSDGsスコアリングモデル「Sustainable Scale Index(サステナブル・スケール・インデックス)」が採択されました。

北九州市SDG-Xリーディングプロジェクト補助金は、SDGsを原動力とした地域経済の活性化を図るため、優れたSDGs経営を実践し、「地元企業の成長」と「社会課題の解決」の同時実現に向けて、先進的に取り組む企業への財政的支援を実施するものです。

補助対象となる事業は、DXとGXに取り組む先進的なプロジェクトで、2030年のあるべき姿として、『真の豊かさ』にあふ

■図1:SDG-Xの概要



出典:北九州市 記者発表資料



Kitakyushu SDGs

れ、世界に貢献し、信頼される『グリーン成長都市』をビジョンに掲げた第2期「北九州市SDGs未来都市計画」に掲げる『5つのまちの姿』の実現に寄与するものです。

北九州市は、2018年6月に、国内初となる「SDGs未来都市」および「自治体SDGsモデル事業」にも選定されるなど、国内外から高い評価を受けています。

2020年1月に、北九州市内の金融機関と連携し、「SDGsを経営に取り入れた」という企業の相談に対し、ワンストップで支援する「SDGs経営サポート」をスタートしたほか、2021年8月には、SDGsの達成に寄与する企業等の取り組み内容を

「見える化」する「北九州SDGs登録制度」を創設しています。

こうしたこれまでのSDGs経営の裾野を拡大する取り組みを進展させ、リーディング企業を創出する取り組みを今年から開始しており、その第1弾が、今回の補助金制度です。

今後も、北九州市は、SDGsを推進する企業等を認証する制度の構築を計画するなど、SDGs経営のムーブメントにつなげる取り組みを推進し、「稼げるまち」への発展を目指していきます。

FFGでは、今後も地域金融機関として、地域社会における「自律的好循環（※）」（図2）に積極的に参画するとともに、お客様のサステナビリティへの取り組みを支援してまいります。

（※）自律的好循環：内閣府より公表されたSDGsアクションプランでは、持続可能なまちづくりによる地域活性化が重要である旨、提唱されています。地域の多様な企業、金融、自治体が連携して、地域課題の解決に向けて、キャッシュフローを生み出し、生み出された利益を地域に再投資するという考え方です。

■図2：自律的好循環



出典：内閣府地方創生SDGs金融調査・研究会

九州の魅力発見！

九州の夜を彩る夜景都市

北九州市・長崎市・熊本市の夜間景観への取り組み



KITAKYUSHU



NAGASAKI



KUMAMOTO

北九州市

「日本新三大夜景都市」全国1位

2022年3月25日、札幌市で開催された「夜景サミット2022 in 札幌」で、全国約6,100名の夜景観光士の投票により、北九州市は「日本新三大夜景都市」に全国1位で再認定※されました。

※2018年の認定に続き、2度目の認定

北九州市は、「皿倉山」や「高塔山公園」、「足立公園」、「門司港レトロ展望室」、「小倉イルミネーション」、「戸畑祇園大山笠」、「和布刈公園第二展望台」、さらに、今年8月に新たに認定された「若戸大橋」といった日本夜景遺産が8つもあり、バラエティ豊かな夜景観光資源があります。

また、2018年に初めて日本新三大夜景都市に認定されて以降、「小倉城」や「門司港駅」、「若戸大橋」など歴史的な建造物のライトアップや北九州市民が力を合わせて創り上げたイベント「小倉城竹あかり」など、さまざまな取り組みを行い、夜景観光都市として全国に魅力を発信してきました。

こうした活動を市民や関係者の方々と力を合わせて実施し、夜景観光資源を磨き上げてきた結果、今回の全国1位の認定に繋がりました。

「ものづくりの街」として発展してきた北九州市を象徴する夜景として「工場夜景」も人気があり、船の上から工場夜景を楽しむことができる「夜景観賞定期クルーズ（要事前予約）」が運行されています。関門海峡から洞海湾にかけての海沿いに林立する工場の幻想的で煌びやかな光を、ナビゲーターの案内を聴きながら楽しむことが出来ます。（夜景鑑賞定期クルーズお問い合わせ…関門汽船株式会社 TEL093-331-0222）

今後も北九州市は、夜景観光都市としての発展を続けていくために、市民と関係者が一丸となって新たな夜景の魅力を創り上げていきます。

北九州の夜景
情報が満載!

北九州市の
夜景公式サイト



北九州を代表する夜景スポット、皿倉山からの夜景



2022年8月、新たに日本夜景遺産に認定された「若戸大橋」のライトアップ

長崎市

「世界新三大夜景都市」世界2位 「日本新三大夜景都市」全国3位

世界的にも夜景都市として有名な長崎市では、夜間景観の向上を目指して、様々な視点からの夜間景観づくりに取り組んでいます。

※世界新三大夜景には2012年に初認定され、2021年に2度目の継続認定

長崎市は、長崎県の最大の都市であり、中核市に指定されています。環長崎港夜間景観向上基本計画をもとに「遠景の夜景みがき」と「中・近景の夜間景観づくり」の2つの視点で夜間景観整備の取組みを進めてきました。

長崎市は、鶴の港と称される長崎港を中心に、山々が取り囲むすり鉢状の地形をしています。この長崎独自の地形が立体的な夜景を創り出しており、「稲佐山」・「鍋冠山」・「風頭公園」などに代表される多くの視点場から夜景を楽しむことができます。

遠景の夜景を楽しむ工夫として稲佐山および鍋冠山から見える夜景の新たな魅力づくりを企画してきました。各視点場（展望台）から眺める夜景にハートマークや星座の形が浮かび上がる整備も行い、新しい夜景の楽しみ方を提案しています。

夜景を多くの人に楽しんでもらうため、展望台およびその周辺の整備も行ってきました。稲佐山では、2011年に山頂展望台の改修を行い、長崎ロープウェイ稲佐岳駅舎から展望台のある山頂駐車場までの通路に7,000個のLEDを設置した「光のトンネル」で、来場者が山頂での夜景に出会うまでの空間をサポート。また、山頂にある電波塔のライトアップ整備などを行っています。

その他にも、夜景観光を推進する「夜も歩いて楽しいまち」のため、中・近景の夜間景観づくりを進めてきました。市内7カ所のエリアにおいて、地域のランドマークとなる歴史的建造物や観光施設等のライトアップや回遊路の街路灯などの整備を重点的に行っています。

今後も長崎市は、世界に誇る夜景都市としての魅力を磨き続けてまいります。

夜景スポットが
たくさん見つかる!

長崎市の
夜景情報はこちら



眼鏡橋の夜間景観



稲佐山からの夜景

熊本市光のマスタープラン

熊本市の恵まれた景観資源を活かした夜間景観づくりに官民連携で取り組み、魅力ある夜景都市を創造しています。

熊本市は、まちの中心部にそびえる勇壮な熊本城、清らかな地下水と豊かな緑、良質な農産物等、歴史文化と自然の恵みにあふれたまちであり、これらの特性を活かした良好な景観を守り育てるため、早くから熊本市独自の都市景観づくりを進めてきました。一方、夜間景観に関しては、これまで全市的な考え方や方針が整理されておらず、熊本市の特性や景観資源が夜間に活かされていないことが課題としてありました。

そのような中、2016年4月に熊本地震が発生。その甚大な被害を受け、改めて安全・安心のための光の大切さを認識しました。そこで、復興事業の歩みに合わせ、熊本市の特性や景観資源を活かし、官民連携による統一感のある新たな夜間景観づくりに向けて、新たな一歩を踏み出しました。

その第一歩として、2021年3月に、夜間景観の理念や方針を

定めた「熊本市光のマスタープラン」を策定。実際に見て感じてもらう機会を通して、市民一人ひとりが夜間景観に対する意識を高めることが重要と考えています。そこで、「熊本市光のマスタープラン」に基づき、市民協働で地域資源や行事等の照明演出の支援を行う「ライトスケープ・キャラバン（夜間景観実証実験）」を2021年より始動し、魅力ある夜間景観を地域と一緒にづくり、地域主体のまちづくり活動を推進していきます。2021年は、市内7カ所において本取り組みを実施しており、今年も継続して実施しています。

「熊本市光のマスタープラン」では、熊本市の夜間景観の将来像として、熊本の顔（目鼻立ち）が魅力的に伝わるまちを掲げています。この実現のために、市民・民間事業者・行政等が相互に連携し、計画的かつ持続的に光を紡いでいくことが必要不可欠と考えています。

今後も、ライトスケープ・キャラバン等を通して市民や民間事業者を巻き込み、地域主体の活動を支援しながら、市民一人ひとりの自主的な夜間景観の形成への参加を促してまいります。

ライトスケープ・キャラバン
Webページ



都市デザイン課
Instagram



ライトスケープ・キャラバンの事例
上.白川夜市、下.子飼商店街

福岡市の環境啓発イベント 環境フェスティバルふくおか2022開催!

2022年10月29日(土)・30日(日)に子どもから大人まで
環境について楽しみながら学べるイベントを開催します。

※福岡銀行は「環境フェスティバルふくおか2022」に協賛しています。

福岡市では2003(平成15)年から市民団体・学校・事業者・行政の共働による体験型の環境啓発イベントを実施しています。

本イベントの目的は、環境にやさしいライフスタイルへの転換につながる「気づき」を提供し、市民一人ひとりの環境保全活動・行動を促進するとともに、参加団体の活動発表や互いの活動の情報交換の場として活用され、環境保全活動の環を広げていくことです。

今回のメインテーマは「環境にやさしいライフスタイルへの移行」。環境問題を「じぶんごと」として考えてもらうために、環境に対する意識をポジティブなイメージに変えるきっかけとなる体験を提供します。

昨年度はコロナ禍が続く中でオンラインでの開催になりましたが、今年はリアルとオンラインで参加できる企画を準備しています。

リアルイベントでは、福岡市役所西側ふれあい広場でのステージイベントや、市役所内での体験を通して学びの場を提供するワークショップを開催します。また、市役所1階多目的スペースでは、本の交換会「BOOK BOOK 本市」や環境絵画コンテストの作品展示が行われます。

市役所会場以外でも環境について学ぶツアーを企画しています。

※ワークショップとツアーについては事前予約が必要です。詳しくは福岡市環境局ホームページをご覧ください。

オンラインイベントは、10月1日(土)～31日(月)の期間で開催されます。

環境への想いを持った学生で結成されたFukuoka SDGs Student Supporter (FSSS)が、おしゃれでカジュアルにサステナブルな情報の発

信を行います。

イベントに参加して環境にやさしい生活のために、私たち一人ひとりができることを一緒に考えてみませんか。



本を持ち寄り、気になった本と交換できるBOOK BOOK 本市

オンライン特設サイト
QRコード
(10月1日公開開始)



ENVIRONMENTAL FESTIVAL FUKUOKA 2022

環境フェスティバル ふくおか2022

10月29日(土)・30日(日)

2Days 10:00~16:00

会場：福岡市役所西側 ふれあい広場

ご来場の際はマスクの着用等の基本的な感染防止対策にご協力ください

子どもから大人まで
身近にあるエコに触れて楽しもう！

入場無料
遊びにきてね

Illustration by funtam

ステージパフォーマンス



5んま先生のECO実験

子ども向けの 環境学習ステージ

日本で初めての環境問題
パフォーマー5んま先生の
実験ステージを開催！

ちんどん 鈴乃家

カラフルポップな衣装に
笑顔のをせてみなさんの
心をくすぐります

絵本読み聞かせ

サラリーマン絵本作家
くわきりょうさんの
絵本読み聞かせ



ボタニカルライト体験

植物の力で発電
botanical light
(ボタニカルライト)

スタンプラリーに挑戦

ブラックライトを使って
スタンプラリーに挑戦！
参加者には素敵なプレゼントも！
※景品が無くなり次第終了です。

はかりうりマルシェ

欲しいものを、欲しい分だけ購入可能！
必要な量を持参した容器に詰めて持ち帰ると
いうスタイル。無駄をなくして環境に優しく！



出品項目(予定)

- カレー ●ナッツ類
- 野菜 ●珈琲豆
- パン ●その他

容器等のご持参をお願いいたします

BOOKBOOK本市

読まなくなった絵本をお持ちください
ご自宅で眠っている本を持ち込み、ほかの方が
持ってきた本と交換できる「本の交換会」です。

今回は下記を中心に準備しています

- 児童書・図鑑
- 絵本・漫画
- その他小学生向け書籍

マイバッグの
ご持参を
お願いいたします

次世代自動車展示・試乗会

29日(土)・30日(日) 試乗受付は
10:00-16:00 10:00-15:30 終了時間30分
前までです



燃料電池自動車 (FCV)



走る
蓄電池



電気自動車 (EV)



電気自動車 (EV)

この機会に
次世代自動車を
間近で見て！
触れて！試乗して
みませんか？

※写真は当日の展示・試乗車両と異なる場合がございます。

環境絵画展示

花王国際こども環境絵画
コンテスト
受賞作品展示



その他、ワークショップ・ツアーなど盛りだくさんの2日間！ 詳細は福岡市ホームページをご覧ください。➡

『アート×演劇』で彩る

ひろしまナイトミュージアム

「私の黒い猫を見なかったかね」、薄暮の美術館でランプを持ったゴッホの語りで始まる新たなアート体験「ひろしまナイトミュージアム」についてご紹介します。

新たな美術の楽しみ方を提案

「ひろしまナイトミュージアム」は広島県観光連盟が「ナイトタイムエコノミー（※）」推進を目的に企画したイベントで、ひろしま美術館と富裕層向けの観光コンテンツを提供するエクスペリサス株式会社（東京都、丸山智義社長）が共同して開催しています。

（※）ナイトタイムエコノミー：夜の時間（18時から翌朝6時まで）に行われる観光、娯楽などを通じて経済を活性化させる考え方や取り組み。

本イベントでは、ゴッホやセザンヌ等に扮した役者が「ドービニーの庭」（ゴッホ作）をはじめ、ひろしま美術館が所蔵する名作6点について、それらが描かれた時代背景や画家同士の交流エピソードを交えながら紹介していきます。役者が画家

を演じながら作品を説明するというエンターテインメント性を取り入れた鑑賞方法は、日本でも初めての試みといい、絵画にあまり詳しくない人でも楽しめると好評を博しています。

映画監督の^{いちおな}一尾直樹氏が脚本を担当、ひろしま美術館の学芸員が監修し、地元劇団「グンジョーブタイ」のメンバーが画家達を演じるなど、地域の人を活かしつつ、地元にお金を落とす仕掛けづくりにもこだわった企画となっています。

多彩な魅せ方が可能に

「ひろしまナイトミュージアム」の参加料金は5,250円／人で、各回の定員を20人としてい



▲ナイトミュージアムに観客を案内するゴッホ（資料）筆者撮影（以下同様）

ます(2021年4月現在)。イベント前はウェルカムドリンクでもてなされ、閉演後には役者とのフォトセッションができるなど、ちょっとしたプレミアム感が演出されています。

ほのかな明かりの中で、語り掛けるような口調



▲「ドービニーの庭」(ゴッホ作)の説明をするモネ

によるストーリーを聞いていると、まるで作品が描かれた時代にタイムスリップした感覚を味わえます。セリフを通して画家の苦悩や喜びに触れることで、一人ひとりがより深く作品に向き合う時間を持つことができます。

本イベントは、感染予防の観点から少人数で開催していますが、「アート×演劇」を基本に、「より少ない人数でリラックスして閉館後の美術館を楽しむ」といった国内外の美術ファン向けのアプローチや、小中学校の修学旅行に組み入れて芸術に触れる機会を提供するなど、構成を組み合わせることにより、様々な応用も可能です。

美術館に限らず、さまざまな展示や場所などを「〇〇×演劇」に当てはめてプランニングをすることで、「魅せるコンテンツ」への可能性が広がります。

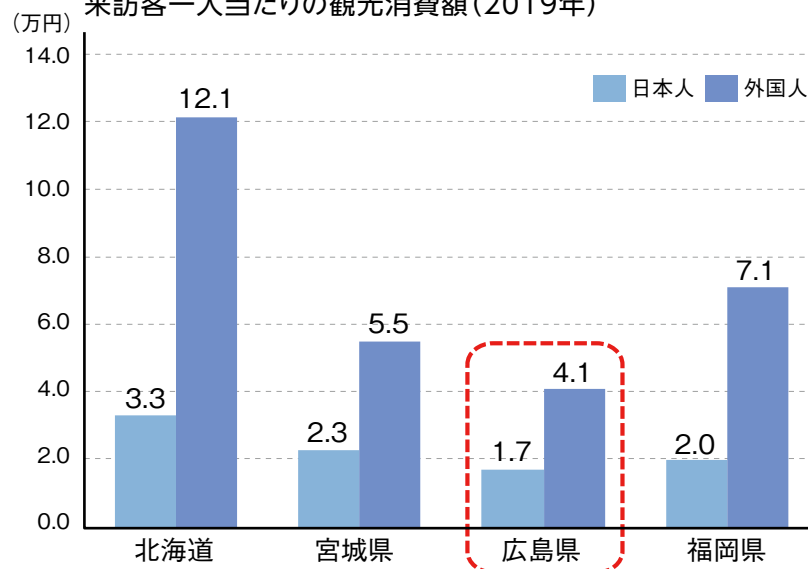
インバウンド需要にも対応

広島県は、他の都道府県と比べて観光消費額が少なく、滞在時間を延ばすことで宿泊や飲食等の需要を喚起する夜間の新たな観光プロダクト(＝観光地の魅力向上)の開発が求められてき

ました。

広島県ではこれまでも「夜神楽公演」や「広島城のライトアップ」等、ナイトタイムエコノミーの推進に取り組んでおり、「ひろしまナイトミュージアム」もその一環として、当初は旺盛な消費が期待できるインバウンド向けに企画されました。

来訪客一人当たりの観光消費額(2019年)



(資料) 観光庁「旅行・観光消費動向調査」「訪日外国人消費動向調査」を基に
(株) ひろぎんHD経済産業調査部作成

近年、インバウンドの興味や関心は、ショッピング等のモノ消費から、体験型観光をはじめとするコト消費にシフトしており、特に広島県に多く訪れる欧米豪からの観光客にその傾向が強くみられるためです。

瀬戸内をアートで繋ぐ

また、今回のイベントの企画を担当したエクスペリサス株式会社の丸山社長は、観光消費額を増やすためには、イベントを散発的に開催するだけでなく、一つのテーマを決めて、関連する様々な場所や内容を組み合わせて滞在時間を延ばす取り組み、すなわち「周遊ルート」の造成が重要といえます。

瀬戸内地域では、「瀬戸内国際芸術祭」が3年に一度開催され、回を追うごとに外国人を含めた来場者数は増加しています。また、直島（岡山県）、豊島（香川県）等は現代アートの島として知名度が向上しています。そこで、アートをテーマに、多言語対応とした「ひろしまナイトミュージアム」とこれら地域を結びつけることで、瀬戸内の島々を周遊後広島市で一泊する、というよう

なルートの造成が考えられます。

「アート」は、食や他の様々な観光資源とも連携しやすく、観光コンテンツを点としてではなく面として捉えることで、回遊性を高めることに繋がります。

ここでしかできない体験が価値に

「ひろしまナイトミュージアム」は、広島県内を中心に2021年4月の初回公演には定員の約15倍の応募があるなど、予想を上回る反響がありました。コロナ禍の開催が、地元の人にとって県内の観光資源の魅力を再発見する機会になったのかもしれない。

広島の人に愛され、広島に来なければできない体験は、観光客にとっても付加価値の高いコンテンツになります。人々の往来が自由になったとき、「ひろしまナイトミュージアム」が新たな観光コンテンツとして定着化し、広島島の観光のさらなる活性化に繋がることが期待されます。

（文責：株式会社ひろぎんホールディングス
経済産業調査部）



（提供）公益財団法人ひろしま美術館

●今後の開催については
ひろしま公式観光サイト
「Dive!Hiroshima」
(<https://www.dive-hiroshima.com/>)でご確認ください。

●「ひろしまナイトミュージアム」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通常はマスクをつけて演技を行っています。

公益財団法人ひろしま美術館

〒730-0011 広島市中区基町3-2
休館日 月曜日（祝日の場合は翌平日休、特別展会期中は開館）、および年末年始

日本全国 県境・地域を越えた 「様々なビジネスニーズ」にお応えします！

このようなビジネスシーンでお困りではありませんか？



全国の地銀9行連携 「地域再生・活性化ネットワーク」について

経営基盤・営業エリアが異なる地銀9行が、様々な情報・ネットワークを相互に活用することで、地域経済の再生および活性化を図るために構築した広域連携です。

県境・地域を超えて活躍する（今後検討される）お客さまのビジネスニーズ等に対して、全国の各エリアをカバーする地域金融機関が連携・協力して対応していきます。

- ①複数の地方銀行による資金供給（シンジケートローン・協調融資等）
- ②他エリアの地方銀行のネットワーク情報を活用して、M&Aや事業承継における相手方情報をご提供
- ③ビジネスマッチング業務にかかる他エリアの地方銀行のお取引先等をご紹介します



- 【注意事項】
- 本ネットワークは、協定書を締結した地方銀行9行の連携・協力に基づき運営されています。ご利用にあたり、お客さまのご要望・ニーズなど、必ずしもご期待にそえない場合がありますのでご了承ください。（個別具体的なソリューションのご提供を確約するものではありません。）
 - 本ネットワークのご利用を希望される場合は、お近くの取引銀行窓口までお気軽にご相談ください。（ご相談は無料です、但し、個別具体的なソリューションのご提供にあたっては、各銀行所定の手数料等がかかる場合があります。）

九州の星
Star of Kyushu

| 76 |

頑張るあなたを
応援するコーナーです

世界チャンピオンになるために
日々厳しい修練を重ねる！

〈主な戦績〉

●カラテドリームフェスティバル全国大会

組手 小学1年生男子 重量級

組手 小学2年生男子 重量級

2年連続優勝(2020年・2021年)

●JFKO 第1回全日本青少年

フルコンタクト空手道選手権大会

小学2年生男子 重量級 優勝



世界最強の空手家を目指す小学生

キリッとした表情に、キレのある突きや蹴り。フルコンタクト空手(直接打撃制)の新極真会で稽古に励む緑晴君は、「カラテドリームフェスティバル全国大会」組手 小学生男子学年別 重量級で2年連続優勝した実力の持ち主だ。

晴君は小学校に入る前まで自然豊かな奄美大島でのびのびと育った。おばあちゃんが好きで、今も夏休みなど長期の休みは奄美大島で過ごすという。

4歳から奄美大島の道場に通っていたが、その頃はいわば「眠れる獅子」。小学校入学と同時に福岡市に引っ越してから、同世代の子の強さに触発され、稽古を重ねるうちに自然と強くなった。

今では週5、6日、学校が終わって宿題をしてから道場へ通い、3時間超、組手メインで練習する。空手以外にもスイミングスクールや英会話教室に通う。

「空手の練習に行きたくないと思う日もありますが、試合で優勝したら練習してきて良かったと思います」

空手をやってきて嬉しかったことは「全国大会で連覇できた」「友達が増えた」ことだと目を輝かせながら話す。

試合後に「牛乳を飲む」のが好き。楽しいことは「学校で友達と鬼ごっこ」と小学生らしさも覗かせる。

将来の夢は「世界チャンピオン!」。大きな夢に向かって今日も稽古に励む。

緑 晴

MIDORI HARU

Age 9 小学3年生

福岡市在住

新極真会 福岡本部道場
(TEL.092-739-9922)

新極真会
福岡支部HP



▲功績が認められ福岡市市民スポーツ賞を受賞(写真は表彰式の様子)



▲新極真会 福岡本部道場のみんなと一緒に記念撮影



1



2



3

FPG ビジネス
コンサルティングの
釣り道
ちょっと
つりみち
[平家の里の大山女魚編]
Vol.13

①ヤマメを狙う道具(ミノープラグ) ②釣られたことをわかっていないようなヤマメ ③ヤマメは沢水にさらしてリリース ※溪流釣り場はほとんど入漁権が設定されています

「深山幽谷……」

九州の脊梁のほぼ中心、祖母傾山系から国見岳にかかる山深い奥地にひっそりと佇む椎葉の郷は、まさにその言葉がふさわしい。

ここを訪れた方ならわかるだろう。そこは、そそり立つ針葉樹林に覆われた急峻な山あい、を、碧い清水を湛えた谷が深く切り裂き、訪ねる者を拒むかの様な険しすぎる地形は、追討の手から逃れていた平家の落ち人からすると、ようやくたどり着けた安寧……。それを約束された地に見えたのかも知れない。

夏の日差しが降り注ぐ前の、梅雨の名残の霧雨が杉林にまとわりついている。それは鬱蒼と茂った森林の表面に潤いをもたらし、フイトンチッドを含んだ杉の香ばしい芳香が辺り一面を包み、木々の間は蕭蕭と幽玄な雰囲気醸し出す。

筆者は沢に下り立ち、ソーダのような青い水色を湛える小さな淵の脇に立っていた。そこから恐る恐る入水し、上流の方を目指し沢登りをしながらこの溪で育った大ヤマメを狙っていくのだ。ウエーダー(ゴム長)を履いているとはいえ、標高



深い山あいの溪谷

600Mを超える高地の沢の水は冷たい。また川の流れは水色と裏腹に重く両足は常に強い力で圧迫されている。足を踏み出すと、残された足の周りの川底の小石が流れに飲まれ崩れ去り、なんとも心もとない。しかし溪流釣りつてヤツはこうやって自然のままの沢を攻め登り、流れに潜む溪魚を攻略していくのだ。

先の小雨でほどよく増水した沢の相を読みながら、左奥の大岩の陰に、子魚を模したミノープラグ(疑似餌)を泳がす。刹那、岩の横の水下面がギラッと輝き右手に衝撃と躍動感が伝わる。それは急な流れを全身に受け、俊敏に水中を逃げ回る。ただ決して水面に飛び出すことはなく、途中から身をよじり回転させ最後の抵抗を見せる。そのフアイトからそれが良型のヤマメであることがわかる。

そのヤマメは、尺を超えるメス。本来は美しい斑紋を纏っているが、これは大型になりおそらく下流に下りる準備をしていたのだろう、その全身は銀色の眩い光を放つ。

ヤマメを沢水にさらし、リリースする準備をしてたら水滴が頬を濡らした気がした。見上げると、木々の間を雨粒が落ちてきている。間もなくこの岸辺は濁流が覆うかも知れないが、この溪と一尾はなんとも言えない爽快な気持ちを与えてくれた。

平家の人々が落ち延びたと言われる深い山あいの溪谷には、まだまだ魅惑の美しい山女魚たちがひっそりとしつかりと生きていた。また会いに来よう、と筆者は想ふ。

「すみません、家から往復500km近くあるんですけど……遠っ!」
(泣)」



ギンゲ
銀化した大ヤマメ

長崎だより

長崎の情報を
お届けします

FFG調査月報の姉妹誌「ながさき経済」を発刊している、ふくおかフィナンシャルグループの長崎経済研究所。長崎の旬な情報を提供するコーナー「長崎だより」の今月号は、同研究所の調査研究・レポート記事のなかから、長崎県長与町にある社会福祉法人の取り組みを紹介します。

長崎経済研究所による「ながさき経済web」随時更新中!



当研究所が発信する最新の情報をメールでお届けします。

メールマガジンの登録はこちら▶



お問い合わせ

株式会社長崎経済研究所

長崎市銅座町1番11号
十八親和銀行本店内
TEL095-828-8859



ながさき経済web画面

長崎経済研究所とは

長崎県の経済・社会・産業動向などに関する調査研究及び企業経営や県民の生活のお役に立つ情報をご提供するとともに、各種経済・文化団体の事務局活動等を通じて、地域社会に貢献することを目指しております。



長崎・長与町から福祉の革命を

長崎経済研究所 調査研究部

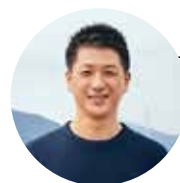
はじめに

わが国の大きな社会問題の1つとなっている『少子高齢化』。増え続ける高齢者と、それを支える（介護する）現役世代・若年層の加速度的減少。このような社会では、福祉の問題が避けられない課題として大きく、重くのしかかっている。

この、ともすれば暗く、苦しく、大変とのイメージがある福祉の世界に、新風を吹き込む動きがここ長崎県長与町であっている。社会福祉法人ながよ光彩会の貞松徹氏は、福祉の世界で様々な取組みを行っていた同法人の前理事長・前田俊昭氏の意思を継ぐ形で、2022年の4月に理事長に就任。以降、日常世界と社会福祉との間の壁を取り払うことにチャレンジしている。本稿では福祉のイメージを変えるべく奮闘している貞松氏の独創的な取組みを通して、長崎県のこれからの在り方について考察する。

I 人の“物語”を支援

貞松氏が現在、福祉において実践しているさまざまなことは、自身が沖縄勤務時代に実践していた「物語の支援」にその基礎をみることでできる。これは例えば、「人が子供も独立してやっと自分の人生を送れる、というタイミングで片手に、あるいは認知症になるなどして、施設に入ることにすると、それまで思い描いていた人生後半の過ごし方と、施設で過ごす現実との間に大きなギャップが生じてしまう。しかしながら、これ



Profile

社会福祉法人 ながよ光彩会
理事長 貞松 徹

- 2000年 理学療法士の資格を取得後、赴任経験のある沖縄の病院に就職
- 2005～06年 沖縄の病院を退職後、バックパッカーとして世界を回る
- 2007～12年 沖縄に帰島。フィジー共和国の理学療法士臨床研修、及びコロンビア共和国の障害者総合リハビリテーションと、社会参加本邦研修のプロジェクトマネージャーにそれぞれ就任。また、国際医療ツーリズム事業にて、中国とロシアを担当
- 2014年 統括施設長兼法人事務局長として、社会福祉法人ながよ光彩会の設立に携わる
- 2020年 “みんなのまなびばみ館”がオープン
- 2022年 社会福祉法人ながよ光彩会の理事長に就任

II みんなのまなびばみ館

は住まいが変わっただけであり、夢まで変える必要は全くない。元気な頃に求めていた夢や物語を、我々介護スタッフが紡いでいけばよい」との考え方である。

通常、人は身内が入居していない限り高齢者福祉施設に行くことはない。多くの人のとって、福祉への関心は自身が65歳を超えると自分事となるが、そうなるまでは他人事（ひとごと）であり、関連施設がまちなかにあっても



関心を寄せない。貞松氏は、この現状を変えようと2018年、長与町本川内地区地域交流センターに、学びの場「ひととまちとくらしの学校」というプロジェクトを立ち上げた。ところが、この場所は人通りが少なく、外部と交流するにはなかなか難しい地域であった。

そこで、目の前に小学校の敷地が広がり、また、近隣には学童施設と町役場があるなど、長与町内でも立地がよい場所にある、グループホームながよ（※）の1階に、『みんなのまなびば み館』（以下、『み館』）を、2020年7月に開設した。

貞松氏は、その開設にあたり、建物の前の道を行き交う多くの人々の視線を隔ててしまっていた1階部分の壁を全て取り払うことで、道行く人々からの視線を得られやすいようにしたうえで、「どうすれば子供の頃から福祉施設に来てもらえるようになるのか」を考えた。

（※）グループホームながよ・・・松栄グループ有限会社（代表：前田慎一郎氏）が運営するグループホーム。同法人とながよ光彩会

は、同じ長与町の社会福祉法人グループwagayo group（わがよグループ。詳細後述に所属している）。

1 『み館』について

『み館』の特徴は次の3点に集約される。

- ① 誰もが利用することができる場所。地域の好きなことや得意なこととで、住民や上階の施設に入居している高齢者が先生や生徒となり、介護職員も輝くことのできる、地域に溶け込んだコミュニティスペース兼ディスカール。
- ② 子供から大人まで、多世代交流の場を提供する。閉鎖的な空間とはせずに、地域の人や介護施設に関わる人同士の接点を創出。
- ③ コンセプトは「まちのリビング」。この「まちのリビング」という言葉には、赤ちゃんから小学生、思春期の中高生、車椅子に乗った高齢者、日本で暮らす外国人などが交わり、コミュニケーションを経験することで、目の前で困っている人がいた

ら行動できるようになってほしい、という願いが込められている。

2 ワークスペース「きょうしつ」

建物の壁を取り払い、目の前の道

路を通行する人々の視線を『み館』に向けてもらえるようにした貞松氏は、次に中まで入ってもらおう導線を得るために、同所にも「ひととまちとくらしの学校」を開校して、各種ワークショップ「きょうしつ」を始めた。ここで



「みんなのまなびば み館」の外観



は、介護職員だけでなく、施設の入居者や地域の子供など、誰もが「せんせい」になることができ、また反対に生徒にもなることが大きな特徴である。

「きょうしつ」の開催は、まずながよ光彩会の職員に発表し、その後地域に向けて公開しているが、情報公開と同時に常に満席となっている。これまで延べ140回近く開催されているが、その内容は、かつて華道・池坊の先生だった入居者が行う「生け花きょうしつ」（この入居者は、せんせい募集のポスターにも登場）や、13歳の男の子がせんせいを務める「魚の3枚おろしきょうしつ」、その他「せいかいのない、おはぎきょうしつ」、「親と子どものいのちのきょうしつ」、「てのひらの珈琲きょうしつ」など、バラエティに富んでいる。

貞松氏は、せんせい役に自社の介護職員を起用しようとしたものの、コロナ禍もあり難しかった。そこで、地域住民の方々に担ってもらうことにしたところ、せんせいとなった地域の住民たちが再び『み館』を訪れ、「他

昔取った杵柄、 ココで活かします。



ひととまちとくらしの学校 先生を募集しています

ちょっとした特技や趣味や経験を活かして「教えたい人」、「集まりたい人」、「子どもが好きな人」、「学校運営のお手伝いをしてくれる人」、「人と人をつないでくれる人」、「アイデアのある人」、「楽しいことが好きな人」。

自分に何ができるかわからなくてもOK！

年齢・性別・国籍不同。まずはお電話の上、お気軽にご見学にお越しください。



社会福祉法人 ながよ光彩会
特別養護老人ホームかがやき
長崎県西彼杵郡長与町本川内郷2-3

☎ 095-894-5555

入居者がポスターのモデルになった

ひととまちとくらしの学校 **ディスカッション**

ひととまちとくらしの学校とは？

だれでも『先生』になれ、だれでも『生徒』になれる学びの場です。

『ふくし教育』『子どもの生きる力』『くらしの知恵』を学ぶ場所として、
ちょっとだけパソコンが得意な事務員さんが、『パソコン教室』を開いてくれたり。
梅干し作りが得意なおばあちゃんが、若い子に作り方を教えてくれたり。
施設で働く理学療法士が、『健康づくり教室』を開催したり。
竹林を管理しているおじいちゃんが、子どもたちに『たけのこ掘り』をさせてくれたり。

わたしたち、社会福祉法人ながよ光彩会は、“学び”を通して、“まち”にくらす人と人がつながれる場所を、『地域のみなさんと一緒に』作ってきたいと思っています。



先生や生徒を大募集します！

ちょっとした特技や趣味や経験を活かして「教えたい人」、「学びたい人」、「子どもが好きな人」、「学校運営のお手伝いをしてくれる人」、「人と人をつないでくれる人」、「アイデアのある人」、「楽しいことが好きな人」などなど。



社会福祉法人 ながよ光彩会
特別養護老人ホームかがやき
長崎県西彼杵郡長与町本川内郷2-3

ひととまちとくらしの学校
☎ 095-894-5555

「ひととまちとくらしの学校」のチラシ



魚の3枚おろしきょうしつ



せいかいのない、おはぎきょうしつ



てのひらの珈琲きょうしつ



のことも学びたい」と生徒にもなった。「せんせい役はできない」と思っている住民も多かったそうだが、こんなことにニーズがあるのか、ということ地域住民に知ってもらうきっかけとなったのである。貞松氏は、このせんせいたちをプロデュースすること自分の役割の1つと認識しており、好きや得意を生業にできる仕組みづくりにチャレンジしている。

3 職員と入居者が

共に活躍できる場所

大手企業では従業員の副業を認めているところも多いが、福祉法人に勤務している職員は福祉関連の仕事しか知らないために、違う仕事に挑むためのスキルが不足している。そこで、貞松氏は、介護の仕事をやっていなかったら何をやりたかったのかを自社職員に問い、そこから出てきた職業の訓練を『み館』にて行うことを考えている。例えば、DIY(※)に興味がある職員のために、大工を講師

に招いた研修プログラムを『み館』に開講する。また、バーの店員希望者には『み館』にバーテンダーを招聘してカクテルの作り方を学ばせた後、週末には『み館』でバーテンダーとして副収入を得られるようにする。さらに、この場合には、作ったカクテルを上階のグループホームがよにも提供することで、入居者の満足度向上にもつなげることができる。同氏は、「人と組織が持続していくための仕組みづくりが自分の仕事であり、職員にはセカンドキャリア・マルチキャリアで、自らも稼ぐ福祉人になつてほしい」と語る。一方、グループホームがよの入居者についても、せんせいとして自身の特技を活かす機会を提供することで、サービスを受ける側に留まらず、教える側にもなってもらい、自身の生活の充実度を上げてもらいたいと願っている。

貞松氏は、周囲の人たちから『み館』はまちづくりのため、地域のためにつくられた施設ですよね?とよく言われるそうだが、本人はそのよう

な考えではなく、「あくまでも『み館』の核は、wagayo groupの職員と施設の入居者が活躍する場の提供であり、その核として作り上げたものを地域におすそ分けしながら共に楽しむことで、地域の方も訪れる場所でありたい」としている。

(※)DIY:「Do It Yourself」の略語で

「自分自身でやる」という意味。

4 まちのリビング『み館』

『み館』では、毎月タイ人のスタッフがタイの家庭料理を地域におすそ分けする「らふ(でこぼこの意)キッチン」が開催されている。これは、長与町が子供の居場所づくりを模索しているなかで『み館』と出会い、『み館』が町の食堂的な役割を担うようになったものである。

貞松氏は、家庭と学校、それに第3の場所という意味のサードプレイスという言葉を好まない。「サードに合わない子供はフォースに行くのか?」と、家庭からどんどん離れる場所が作られていくことに違和感を

覚えている。そこで、親子で参加できる「きょうしつ」を開催することで、子育てのファーストプレイスである家庭に子供たちの様子を届ける役割を『み館』が担うことにした。

本来、地域の困りごとは、行政を訪れて相談するはずである。ところが、おそらく町民の大多数は、苦情以外で町役場に行つたことがない。

貞松氏が『み館』をまちのリビングと謳うのは「何気ない会話のなかにこそ、家庭やまちの課題があるので、は?」との考えからである。「○○相談所とすると人は来ないが、リビングとすると集まりやすい。そこで、何かワークのようなものをしながら、会話するなかに情報が回り、同じ意見でも月に10回くらい出るとなるとこの町に足りないサービスかもしれない、それを社会福祉法人の地域公益事業として検討する」、つまり『み館』を地域課題のヒヤリングの場、マーケティングの場としても機能させている。他方、毎回のように出てくる不満話などは、行政が対処しなければな



5. www.pearsoned.com

5 長与のリビング『み館』

『み館』は、ながよ光彩会の公益事業部門の拠点として運営されている。これまで、町とは高齢者福祉事業を管轄している介護保険課としか関わりがなかったが、現在は、健康保険課やこども政策課、秘書広報課など様々な部署ともつながるようになった。

長与町健康保険課は、コロナへの対応で年中忙しい。そこで2021年11月、同課主催のイベント「Area Research Trail Walking(通称: ART Walking in NAGAYO)」(S運営を、ながよ光彩会が受託した。本イベントを受託するにあたり、貞松氏が町に提案したのが「まちを繋ぐ、福祉に出会う」という形である。イベントの参加者には『み館』に立ち寄ってもらい、『み館』からその人たちに向けて福祉に関する情報を発信する」という、福祉の情報を能動的に取りに求めてもらう仕組みを作った。

◆ART Walking in NAGAYO
(アー・エー・ケー・エヌ・アール・ナガヨ)

- ・開催期間は1ヶ月。1日で歩いて回ると6時間かかるコース。
- ・2022年1月から12月まで12枚のカレンダーを作成。ひと月ご

6 イベントの運営

長与町健康保険課は、コロナへの対応で年中忙しい。そこで2021年11月、同課主催のイベント「Area Research Trail Walking(通称: ART Walking in NAGAYO)」S運営を、ながよ光彩会が受託した。本イベントを受託するにあたり、貞松氏が町に提案したのが「まちを繋ぐ、福祉に出会う」という形である。イベントの参加者には『み館』に立ち寄ってもらう。『み館』からその人たちに向けて福祉に関する情報を発信するという、福祉の情報を能動的に取るに由来する仕組みを作った。

◆ART Walking in NAGAYO
(アートウォーキングながよ)

- ・開催期間は1ヶ月。1日歩いて
回ると6時間かかるコース。
- ・2022年1月から12月まで12
枚のカレンダーを作成。ひと月ご
とに、ながよ光彩会の取材チーム
が取材した町内12店舗のQR



ART Walking in NAGAYO 実施の様子



ボッチャ体験



店舗情報が入ったQRコード付きカレンダー



カレンダーを飾る木製台

コードを掲載しており、該当の店舗に行けばカレンダーを受け取ることができる。12店舗全てを回ると、2022年のカレンダーが全部揃うこととなり、それを『み館』に持参すると、カレンダーを飾る木製台をプレゼント。

・『み館』を訪れた人は、障がい者スポーツボッチャも体験でき、景品を持ち帰ってもらう。

・コロナ禍から、ながよ光彩会の介護職員は当イベントに参加することができない。そこで、期間中の人手不足を補うべく、紙のカレンダーを受け取る方式とともに、

株式会社デンソーウェアの協力のもと、店先のQRコードを読み取ることで専用のアプリにスタンプが貯まる、という2通りの店舗巡り方法を作成。

このようなイベントの参加者は、行政が企画・運営するとしても高齢者に偏ってしまう。これを貞松氏は、長与町健康保険課がターゲットと考える20～60代の参加を促すこ

とを目標に定めた。この目標をクリアするために、イベントに参加する店舗の選定を『み館』に遊びに来ている子供たちと行い、同時にその店舗でもらえる商品も決めた。すると、子供たちはこのイベントは自分たちがつくったものだからと、親を誘ったのである。子供の親が参加することにより、若い世代の参加者が増えることになった。その結果、当イベントへの参加者の年齢は、60代が最も多かったものの、次点は40代、ついで30代となり、親世代に届くウォーキングイベントとして成功を収めた。

III wagayo group (ながよグループ)

“wagayo group”とは、ながよ光彩会が運営する《特別養護老人ホームかがやき》と《みんなのまなびばみ館》、総合ウェルフェア株式会社(代表:前田俊昭氏)が運営する《ぴーぷる長崎》、前出の《グループホームながよ》という、長与町内4つの福祉



施設からなるグループである。同グループは、『人のためにできること』『地域（長与）のためにできること』『社会のためにできること』の3つの理念を掲げており、「夢・物語の支援」人のためにできることを」として、さまざまな活動を行い、福祉を魅力

的な職場としてアピールしている。高齢者の介護では、食事と排泄の介助が主目的のようになっており、その人の背景にある人生は軽視されがちである。そこで、wagayo groupでは個別の夢を実現させるという、日常のケアにプラスワンの支援

wagayo groupで取り組んだ「個別の夢の実現」やイベント	
事例 ①	認知症の症状がある女性の思い「五島へお墓参りに行きたい」を叶えるために、船旅ができるようなりハビリメニューを組み、さらに、職員も現地へ赴いて、ルートや所要時間の下見を行ったことで実現させたプロジェクト。
事例 ②	アルツハイマー型認知症の症状がある男性の願い「自宅で金婚式」を叶えた。
事例 ③	体に麻痺のある男性が、趣味の魚釣りをもう一度楽しむことができるよう、協力した。
事例 ④	ラーメンプロジェクト。施設入居者の「ラーメン食べたい！」を叶える。ラーメン店をまるごと施設に招いた。
事例 ⑤	同じく、うどんプロジェクト。「うどん食べたい！」を叶える。
事例 ⑥	熊本地震へ職員を派遣。現場では既に炊き出しが行われていたが、高齢者施設の入所者は、制限食や硬さなどへの兼ね合いから、それを食べることができない。そこで、介護職員を派遣して「食」を支援した。
事例 ⑦	「認知症キッズサポーター養成講座」を開講。認知症のおばあちゃんを探せ！という指令を受けた子供たちが、町に出て目撃情報やヒントを手掛かりにおばあちゃんを探し出し、グループホームに連れ帰る、というミッション。子供の福祉体験につながった。
事例 ⑧	医療福祉系謎解きイベント「ミスティックマインズ」を開催。約70名の親子が「ながよ地域福祉新聞」の記者として町内のグループホームや商店、お店を巡りながら取材、福祉にまつわる謎解きを行い、ヒントをもらいながら、それぞれの記事を作り上げる → 地域を知ることにつながる。まちを巡った後は、360° 見渡せる映像の中で、認知症の方が持つ気持ちを体験できる「VR認知症」を体験し、身近な人が認知症になったらどうしたらよいかを共に考えた。

を加えるようにした。同グループは「このような支援が、人として当たり前の支援である。高齢者や障がい者、患者など様々な困難な状況にある人の心を知り受容することで、寄り添えることの大切さを、さらに心を元気にしていくことを伝えていきたい」としている。

Ⅳ 今後の動きについて

1 法人内アプリケーションの開発

イベント「ART Walking in NAGAYO」運営の際に協力してもらった株式会社デンソーウェブとともに、法人内アプリの開発に取り組んでいる。そのアプリでは、例えばお手伝いポイントを貯めると食事券がもらえるなど、食事の提供も無償ではなく、労働の対価とする。また、『み館』の商品とも交換できるが、その商品には福祉的背景（施設の入居者が作ったものなど）があることから、それ

を手にする人には福祉が関わっていることが伝わるようになっていく。

最終的には、この仕組みを長与町にも広げることで、町内で行った清掃活動などがポイントとなり、貯まったポイントで町内店舗の何かと交換できるといふ、いわゆる地域通貨的役割も担えるアプリになれば、と考えている。

2 地元プロスポーツチームとの連携

スタジアムシティ構想などバスケットボールを通じた地域活性化に取り組む長崎ヴェルカと、高齢者福祉施設との連携で何かできないかについて検討している。スポーツと福祉で互いに総合的な学びとなり、ヴェルカから福祉を発信してもらうことで多くの人にも届くこととなる。また、親会社のジャパネットHDにも福祉への理解を深めてもらうことにもつながる。



3 長与町外の人々との 触れ合う機会を創出

近い将来、例えばキッチンカー事業を行うなどして、職員が県内各地に赴き、さまざまな地域と、人と触れ合うことで、ながよ光彩会の彩ある福祉を届け、福祉への関心を広め、ふくしをひらいていく事業部門を展開する。

4 役割に応じた 経営体制の構築

経営体制の構築

ながよ光彩会では、2022年6月下旬に経営陣を刷新することになった。現在6人いる理事のうち、理事長の貞松氏と《特別養護老人ホームかがやき》のマネジメントを行っている理事が続投。残り4人の理事を、①介護ソフト「CAREKARTE（ケアカルテ）」導入に伴う福祉分野におけるICT（※）の活用担当、②これから新たに組み込む障がい者事業全般のマネジメント担当、③医

療・看取り部門の担当、④メニュー開発など「食」の充実の担当とし、それぞれ30〜50歳代の比較的若いメンバーが就任した。なかでも、④には厨房のパート職員を抜擢して、パート視点の意見を法人の運営に生かすことができるようにしている。

また、監事2名には、貞松理事長と同世代である長崎市の福祉法人の理事が就任。他方、7人の評議委員には、同じく貞松理事長の同世代で長崎の社会福祉のキーマンと言われている佐世保市の福祉法人の理事長をはじめ、民間シンクタンクの代表やジェンダー問題に取り組む活動団体の代表など、様々なジャンルの人材が就任しており、ながよ光彩会に對して多面的・多角的に意見、助言してもらう体制を整えた。

（※）ICT…「Information and Communication Technology」略称で「情報通信技術」という意味。

おわりに

社会福祉法人ながよ光彩会は、

長崎県からの指名で「介護のしごと魅力伝道師事業」を3年間担っている。この事業は、発信力に課題をもつ福祉業界に対して、福祉分野における発信力をもつ人材の育成を目的としているが、貞松理事長は「指導した人たちは、この3年間ですっかり自分の言葉で話せるようになり、プレゼンテーションもできるようになったが、その人たちが所属する組織は変わらなかった。人だけではなく、組織にも届くような事業でなければならぬ」と語る。

そこで、同氏は「佐世保市の就労継続支援B型事業所や障がい者支援施設、長崎市の特別養護老人ホームなどには、同世代に多くのプレイヤーがいる。県の力も借りながら、他県の福祉関係者にこれらの施設を見学していただき、その質の高さを実感してもらうことで、長崎の福祉を発信していく」と、同事業の今後を考えている。

まもなく開設2年目を迎える福祉施設『み館』における取組みのなか

には、地域課題の解決に取り組んでいるものもあり、1つの福祉施設が地域との交流の形を大きく変えた事例となった。貞松理事長の斬新な取組みにより、wagayo groupには「ここで働きたい」、「み館で働きたい」との申し出が増えており、同グループはここ数年、職員の募集を行わなくても人材が集まる珍しい福祉グループとなった。

福祉について、新たな視点で取り組み続けている貞松理事長とwagayo group。福祉と地域との共生という在り方を示して業界の魅力を向上させることで人材を集め、超高齢社会に対応しようとしている。福祉の世界でこのような取組みが展開されていることが驚きであり、ここ長崎が明るく住みやすい県として認識されることにつながるものと思われる。長崎県は、全国から福祉や自治体の関係者などが視察に訪れる福祉の先進県としても、その地位を確立することができる可能性を秘めているのである。



Juhachi-Shinwa Art Gallery 10th Anniversary
十八親和アートギャラリー開館10周年記念

第3弾

2022

9.3 → 10.29

土

土

版画展

多彩な表現

◀田川 憲「雲仙・原生沼（かきつばた群落）」1961年制作 木版画



茶陶展

▶十三代酒井田柿右衛門「濁手島原茶盃」▶



ギャラリー開館10周年を記念した特別記念展の第3弾といたしまして、コレクションの中から絵画と陶磁器、ふたつの企画展を同時開催いたします。

季節展示室と絵画展示室1に於いて、「版画展～多彩な表現」を開催いたします。長崎ゆかりの田川憲、旭達文の木版画をはじめ、海外作家のリトグラフ、エッチングなど10点をご紹介します。版画ならではの色彩表現や技法の違いなどをお楽しみください。

また、陶磁器展示室2の一部に於いて、「茶陶展」を開催いたします。茶碗・水指・香合など茶道で用いられる陶磁器は茶陶と呼ばれ、多くの愛好家に親しまれてきました。本展では初公開となる十四代楽吉左衛門の茶碗、十三代酒井田柿右衛門の香合などの他、唐津焼の中里太郎右衛門、中里隆の作品もご紹介いたします。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

十三代酒井田柿右衛門

さかいだ・かきえもん：1906～1982。十二代酒井田柿右衛門の長男として生まれる。有田工業学校製陶科卒業。18世紀後半に途絶えた「濁手（にごしで）」と呼ばれる製法を父親とともに復元する。1963年父親の死去に伴い十三代を襲名。1971年柿右衛門製陶技術保存会を設立して会長に就任。同年、重要無形文化財「柿右衛門（濁手）」総合指定される。*

※1976年の法改正により柿右衛門製陶技術保存会が保持団体として認定され現在に至る。

田川 憲

たがわ・けん：1906～1967。長崎市生まれ。1926年に画家を志して上京。版画家・恩地孝四郎の知遇を得て創作版画に出会う。創作版画誌の刊行や版画講習会などの活動を精力的に行い、長崎での創作版画の草分け的存在。戦後は、洋館や唐寺など古き良き長崎風景を主題とした作品を多数手掛けた。

十八親和アートギャラリー

鑑賞無料

【開館時間】10:00～16:00（入館は15:30まで）

【休館日】日・月・祝日、年末年始（12/31～1/3）

※土曜日が祝日の場合は開館



長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856 西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分